

□大根のマルチ引き(⑥列目)

- ・施肥：化成8号、石灰、アツミン 各1杯(約200g)
- ・マルチ9227中をひく

マルチ引き手順 自信がない方は講習会で指導します

- ①採寸し、うね両端に間縄を引く
- ②間縄の内部に施肥した後、レーキで肥料をうね全体に混ぜる
- ③うねを塩ビパイプ等を使って平らにする
(凸凹にすると水が溜まります)
- ④うね全周を掘る

通路部の30cmは確保ください、

慣れないうちは角スコップを使うと楽です。

注1.土はうねに垂直に掘り、土はうね外側によける

注2.4隅部をしっかりと掘る

- ⑤マルチを覆い、左右に引っ張りながら溝に埋め込む
しわが出ないようにマルチの縁をしっかりと押し込む。

※工程⑤の後の微調整

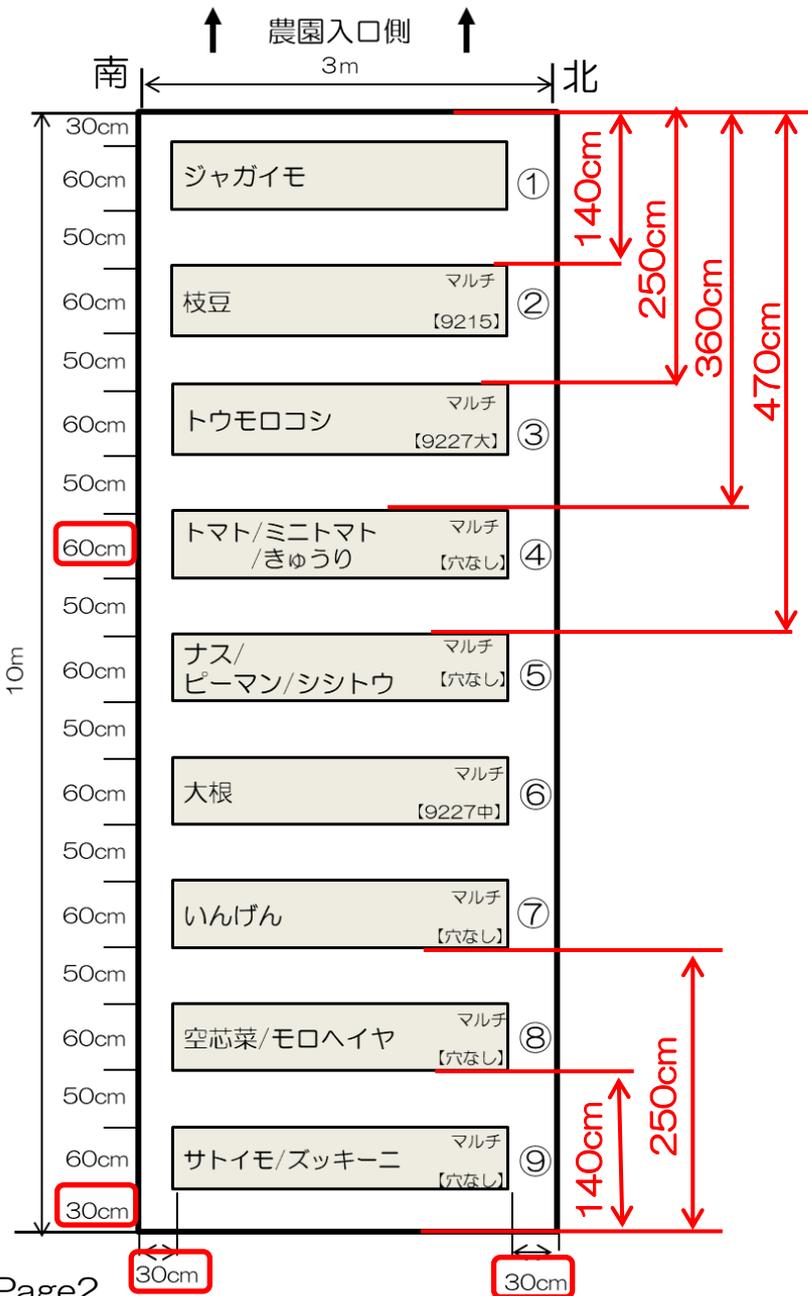
隅部は溝をしっかりと掘りマルチを埋め込みます



30cm分が通路となります

間縄
作業後は片付けます

最後にマルチの縁を押し込むと
きれいに張れます



⑥大根以降のマルチひきです
これ以降肥料は全て同一です **マルチの種類に注意**
優先順位が高い順番に記載しています

- トウモロコシのマルチひき(③列目)
 - ・施肥：野菜名人、石灰、アツミン 各1杯(約200g)
 - ・**マルチ9227大**をひく
- 枝豆のマルチ引き(②列目)
 - ・施肥：野菜名人、石灰、アツミン 各1杯(約200g)
 - ・**マルチ9215**をひく
- いんげんのマルチ引き(⑦列目)
 - ・施肥：野菜名人、石灰、アツミン 各1杯(約200g)
 - ・**穴なしマルチ**をひく
- トマト/きゅうり(④列目)
 - ・施肥：野菜名人、アズミン、石灰 各1杯(約200g)
 - ・**穴なしマルチ**をひく
- ※できるだけマルチ幅60cmを確保するように！
狭いと支柱立て/植付の際、苦労します
- ナス/ししとう/ピーマン列(⑤列目)
 - ・施肥：野菜名人、アズミン、石灰 各1杯(約200g)
 - ・**穴なしマルチ**をひく
- 空芯菜/モロヘイヤ(⑧列目)
- イモ類・ズッキーニ(⑨列目)
 - ・施肥：野菜名人、石灰、アツミン 各1杯(約200g)
 - ・**穴なしマルチ**をひく

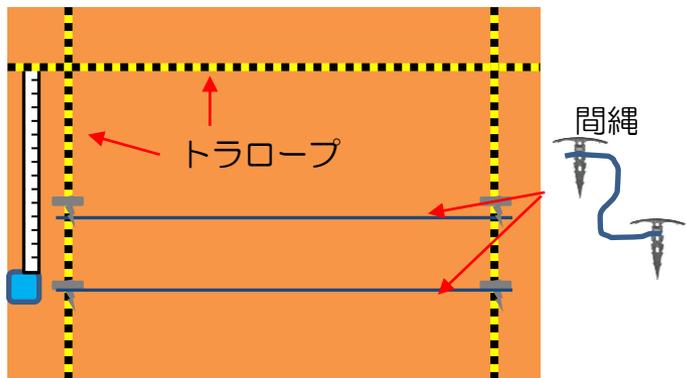
3/28まで

4/4まで

4/18まで

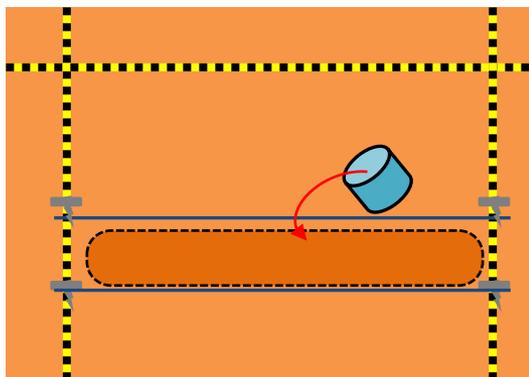
4/25まで

①

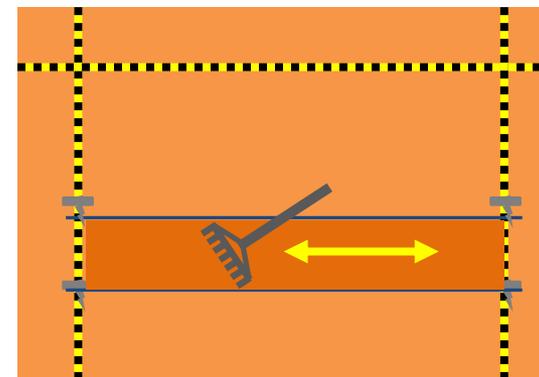


トラロープを基準に、寸法をはかります
うねの両端に間縄をひきます

②

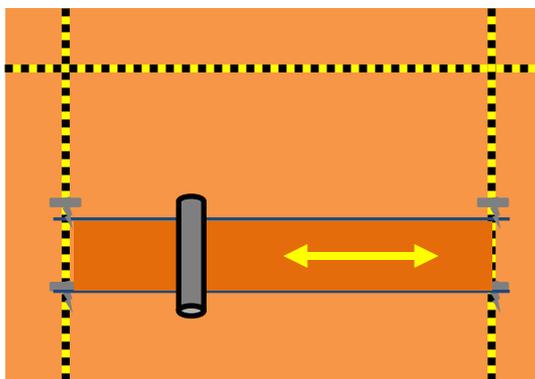


間縄の間に肥料をまきます



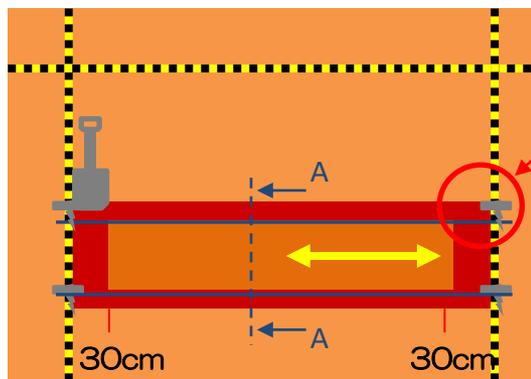
レーキ等で肥料をなじませます

③



塩ビパイプで表面を平らにします
※表面が凸凹していると
マルチに水が溜まります

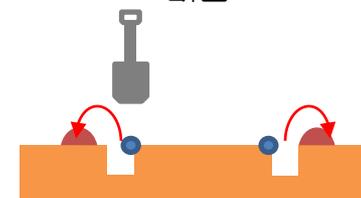
④



間縄周囲に溝を掘ります。慣れない方は
角スコップがお勧めです
通路分30cmを確保ください
※角スコップ幅が30cmの目安です

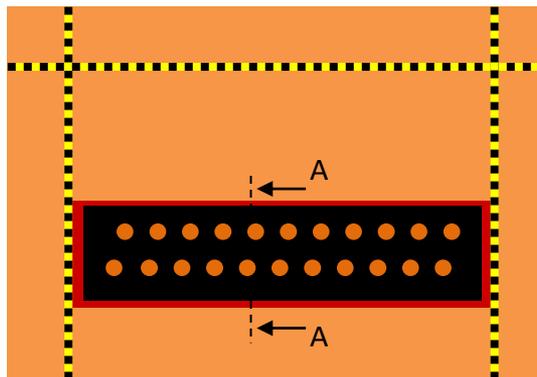
特に4隅をしっかりと掘ります

断面A

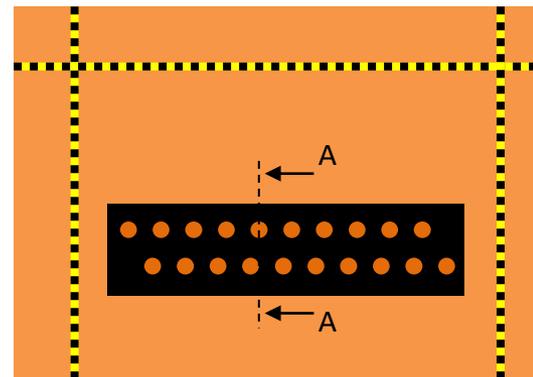
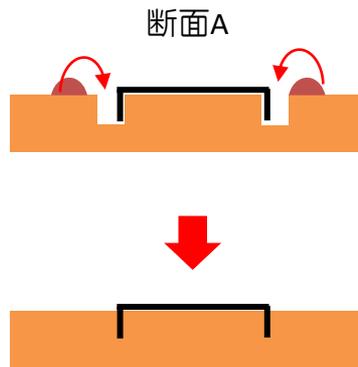


土は間縄の外側によけます

⑤



間縄を外し、マルチをかぶせます

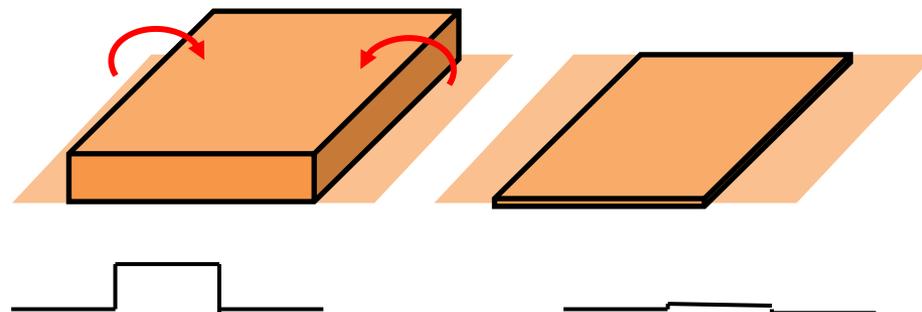


マルチにしわが入らないよう、左右に引っ張りながら溝に土を埋め込みます

補足

うね(畝)の作り方は大きく分けて、高うね/平うねがあります。当農園は水はけがよいため、平うねで行っております。無理に高うねにする必要はありません。本資料でおわかりの通り、当農園では高うねの作り方の指導は行っておりません

希望する方は高うねにしても構いませんが、マルチ側面の埋め込みが甘いと風で飛びやすくなるので、注意してください。



高うね

土を10~15cmくらい高く盛り上げる

平うね

地面の高さのまま
※外周は通路として踏み固められるため、見た目3~5cmくらい高くなる

「各種肥料について」

本資料はHPのみ掲載です

第一回講習では「畑づくり」では堆肥(農園側で実施済み)、「ジャガイモ植え」では配合肥料撒きといった作業があります。同じように感じるかもしれませんが、それぞれ目的が異なります。

「畑づくり」の堆肥/石灰撒きは、**土壌を調整する**ことが主な目的です。

- 堆肥：土の保肥性/保水性/通気性等を高めたり、土中の微生物の活動を活発にすることで、土中の環境を良くする優れた「土壌改良材」としての働きをします。
- 石灰：土壌酸度を酸性→アルカリ性に変え、野菜が育ちやすいような酸度に調整します。

「ジャガイモ植え」の配合肥料撒きは、**野菜が成長するのに必要な栄養分を与える**ことが目的です。野菜に必要な三要素(窒素：N、リン：P、カリ：K)を与えます。

どちらも畑の状態により適正量が異なるため、本講習で示した量がそのまま他の畑(市民農園等)で使えるというわけではありません。ご注意ください

「マルチとは」

マルチとは正式には「マルチング」と言い、土の表面をポリフィルム等で覆う作業を意味します。マルチを行う効果は、以下の通りです。

- ①地温を調整する
- ②土壌水分を保持する(乾燥防止)
- ③雑草の防除
- ④土の跳ね返りを防ぐ(病害防除)

色も、黒/透明/シルバー等があり、それぞれ以下の効果が優れているという特徴があります。

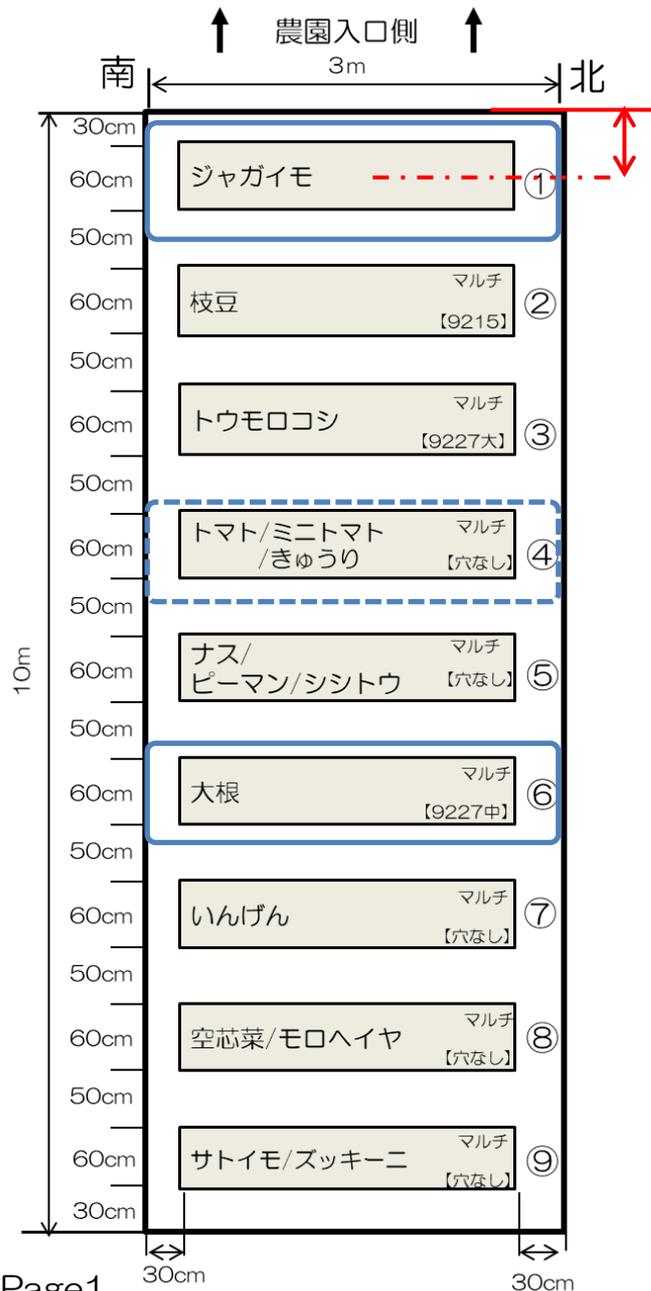
黒：雑草防除 / 透明：地温調整 / シルバー：アブラムシ防除

当農園では雑草防除の効果が高い、黒のポリフィルムを多く使用していますが、トマト/ナスを植えつけるところは、アブラムシ防除のため、銀(シルバー)マルチを使用する場合があります。

ちなみに、マルチ9230の「9230」とは、マルチの種類を示しており、9→95cm幅/2→2列/30→30cm間隔を意味しております。カブ等で使う9415は、95cm幅/4列/15cmとなります。

当講習では、マルチ→穴なしマルチ、マルチ9×××→穴ありマルチと呼びます。2種類以上のマルチ引きがある場合、間違えないように注意してください。

注：詳細は講習当日の指示に従ってください



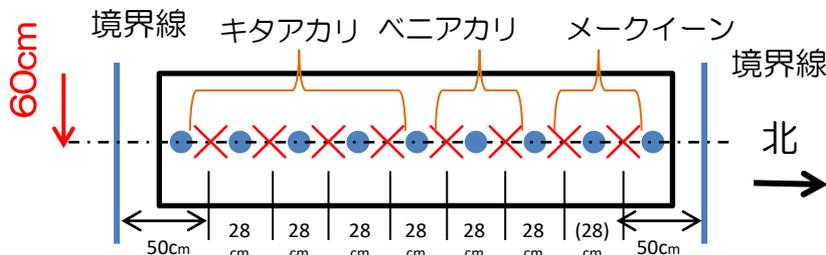
□畑づくり(区画全体)

- 施肥：堆肥 3袋(45kg) 鶏糞2袋(30kg)
- ※2月中に耕耘機にて混ぜ込み済です。

□ジャガイモの植付け(①列目)

キタアカリ：2個(4か所)、ベニアカリ：1個(2か所)
 メークイーン1個(2か所)

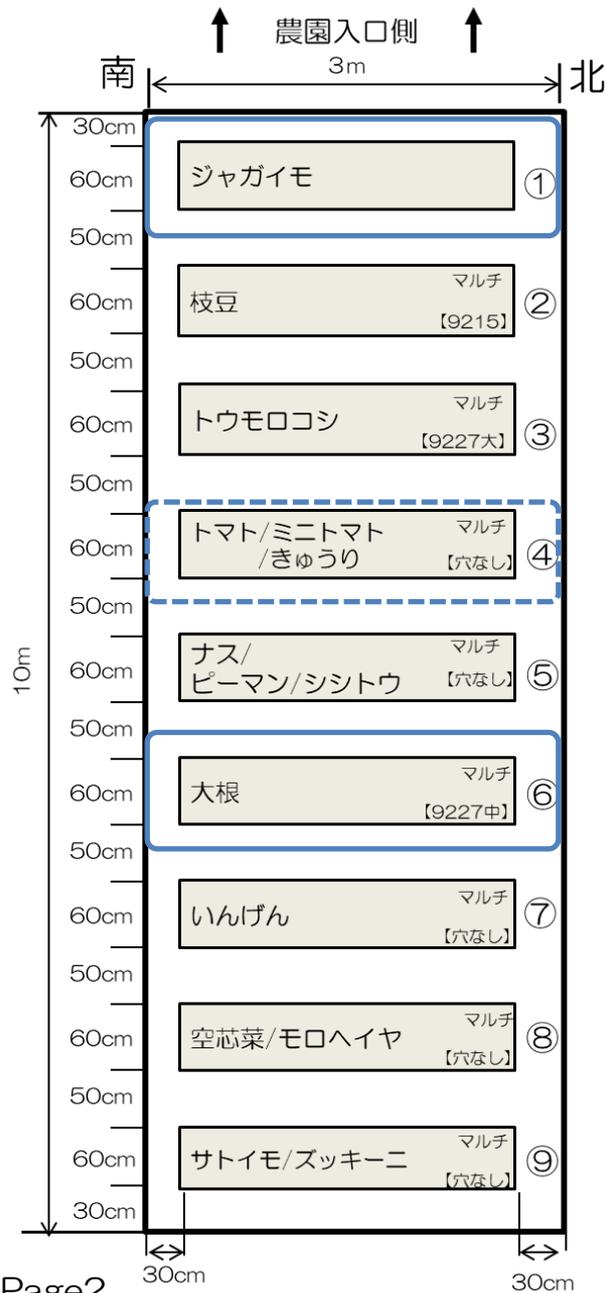
- 種イモ切り(1/2にカット) ※芽があるところを残す
- **×指示部**に深さ約10cm程度の深さの穴をスコップで掘り、種イモを植え付ける(28cm間隔)
- 施肥(肥料：**野菜名人**) 1杯 → ●部に均等に撒く



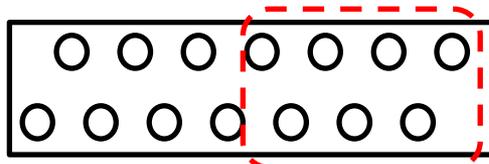
※標準は30cm間隔ですが、種イモを効率よく使えるよう間隔を狭めています。

- 注1. **区画/作付け位置に注意し、植付を行ってください。**
 注2. 畝(うね)の作成や植付時に寸法を測る場合、
区画の境界線(トラロープ)を基準としてください。
 区画内/区画間の通路が確保できなくなるためです。

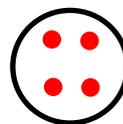
注：詳細は講習当日の指示に従ってください



- 大根の種まき(⑥列目) 品種：天寶(てんぼう)
- マルチ引き→春のマルチひき資料を確認ください
 - 種まき(半分/北側) **1穴4粒**

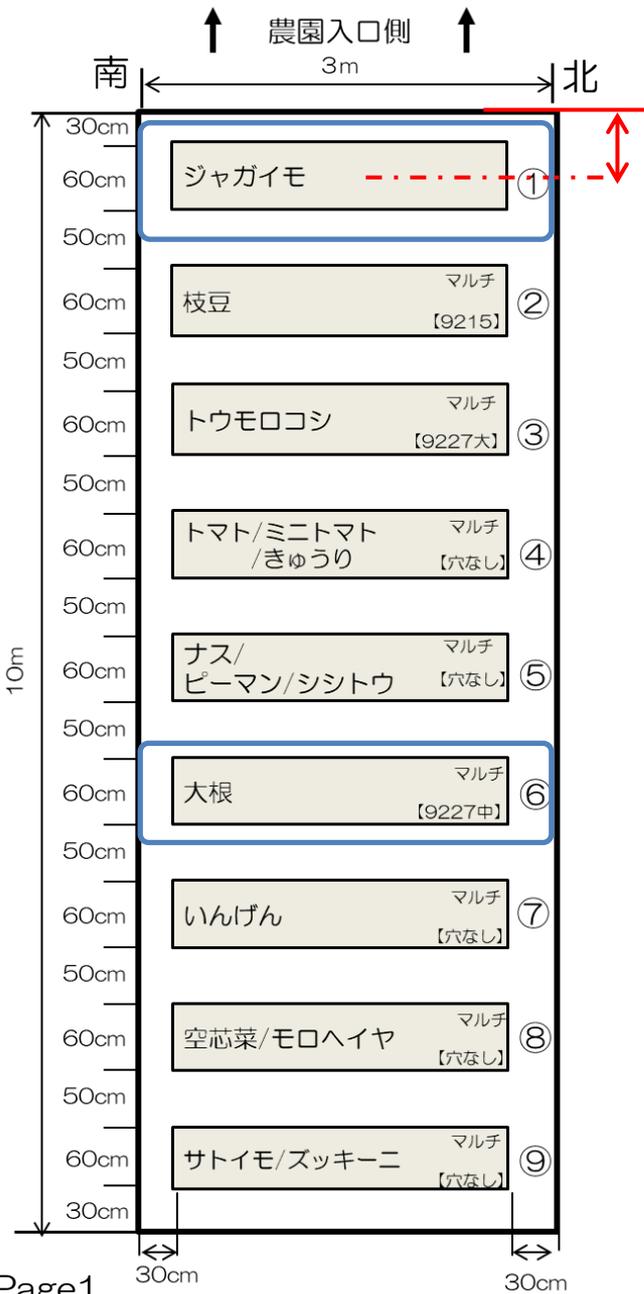


マルチ穴



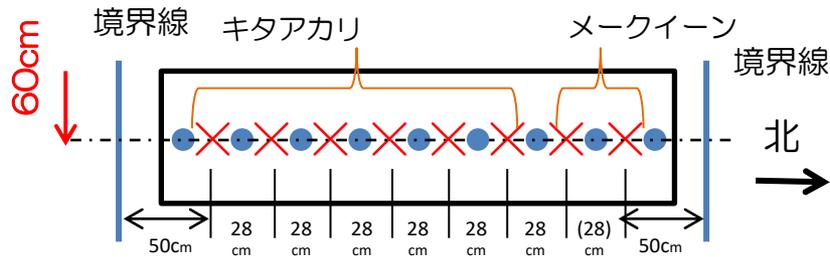
種を1か所に固まらないよう、ばらして撒きます
事前に4つ穴を開けると楽です

- トマト支柱たて(④列目)
- 当日9:45まで**に以下条件に該当し、希望される方は支柱たて指導を行います。
- ジャがいも/大根種まきが終わっている
 - トマト列のマルチ(④列目)がひき終わっている



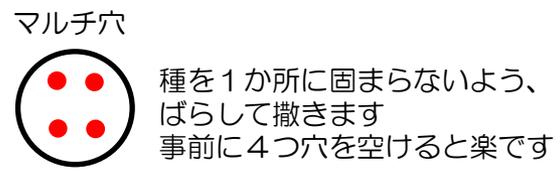
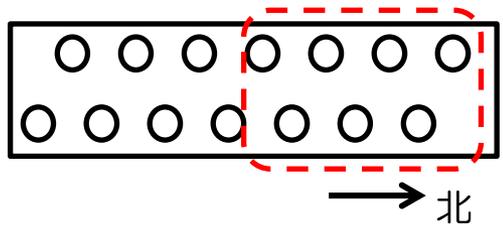
**3/21(日) 予定者向け
第2回講習会は講習時間帯に来園ください**

- ジャガイモの植付け(①列目)
- キタアカリ：3個(6か所)、メイクーン1個(2か所)
- 種イモ切り(縦方向に1/2にカット)
 - ※芽の位置が均等になるように
 - 切り口を灰でまぶす
 - ×指示部に深さ約10cm程度の深さの穴をスコップで掘り、種イモを植え付ける(28cm間隔)
 - 施肥(肥料：野菜名人) 1杯 → ●部に均等に撒く



※標準は30cm間隔ですが、種イモを効率よく使えるよう間隔を狭めています。

- 大根の種まき(⑥列目) 品種：天宝(てんぼう)
- 種まき(半分/北側) 1穴4粒



注：詳細は講習当日の指示に従ってください



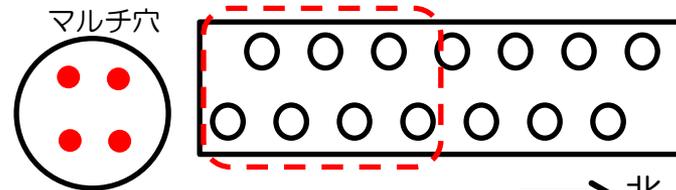
本講習会は自由来園形式で行います
作業される方は出席表の記入をお忘れなく

□大根の種まき(④列目)

・種まき(半分/南側)

※1穴4粒

種を1か所に固まらないよう、ばらして撒きます
指で4つ穴を開けると楽です



※先週種まきして発芽しないものは
まき直し手ください

□トウモロコシのマルチ引き(③列目)→マルチ引き資料参照

・本講習会中に完了させてください

□トマト支柱たて(④列目)

当日9:30までにトマト列のマルチ(④列目)がひき終わり
希望される方は支柱たて指導を行います。

注意：農園関係者立ち合いのもと、本手順に従って作業をお願いします。

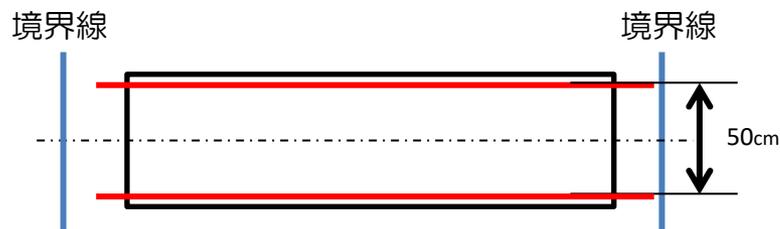
例年回っていると、誤った手順で作業をしています。特に以下注意ください。

- ・間縄を使わず採寸する → 支柱位置が大きくなります
- ・縦棒を全て立ててから横棒を乗せる → 支柱が折れて使えなくなります(厳禁行為)
- ・縦棒を横棒の上側で交差させる → トマト等の重さに耐えられなくなります

当体験農園では、合掌(がっしょう)式支柱を採用しています。トマト/きゅうりの茎を支柱に麻紐で固定し、上方へ成育させます。



②マルチ引きで使用した間縄を2本張り、支柱を立てる幅位置を決めます。



※幅の寸法はマルチの幅ぎりぎりか少し内側になる位置にします

①道具の準備

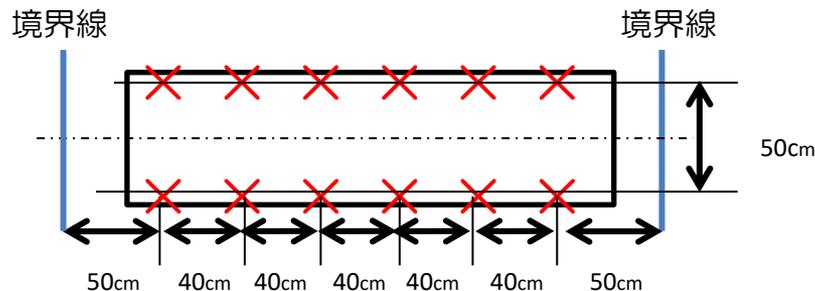
支柱とビニール紐を準備する

- ・支柱(横棒1本、縦棒12本、計13本)
- ・ビニール紐80cm 14本(スズランテープ)
- ・メジャー、**間縄**

※支柱は2種類あります。最初の方に作業される方は 270cm12本、240cm1本 をお持ちください。270cmがなくなった時点で、縦棒も240cmを使用ください

※ビニール紐は、スズランテープを60~80cm程度各自切り出してください。

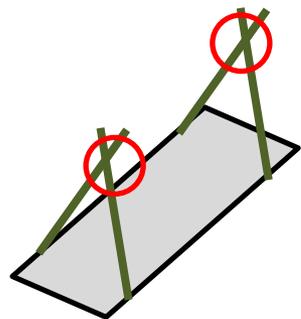
③支柱を立てる箇所(×位置)を採寸し、縄上に指などでマルチに穴をあけます。



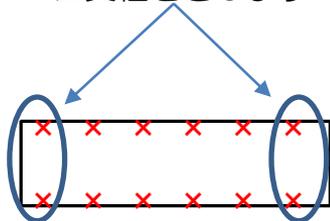
※本来の植付は50cm間隔ですが、トマト類の植付本数を増やすため、本農園では40cm間隔としています。

④両端の支柱(縦棒)を、下図のようにに交差させて
穴にさし込み、ビニール紐で**仮止め**する。

※支柱を強引に曲げないように注意すること

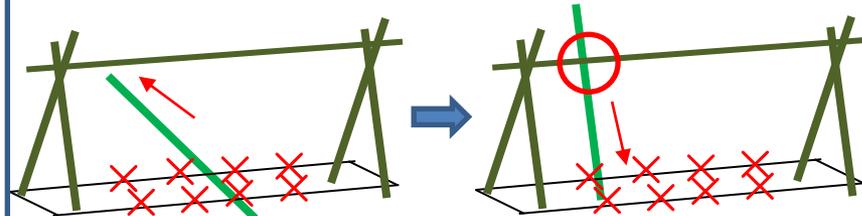


③であけた両端の穴
に支柱をさします



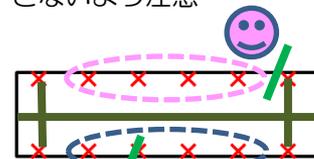
※写真は麻紐ですが、以下ビニール紐を使ってください

⑥残りの支柱を立て、ビニール紐で本締めする

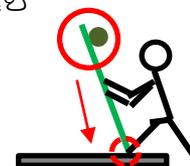


支柱を**横棒の下から通す**
※前後のマルチに棒を刺さないよう注意

上の支柱に沿わせながら穴に
差し込む

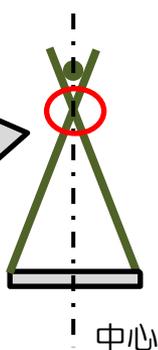
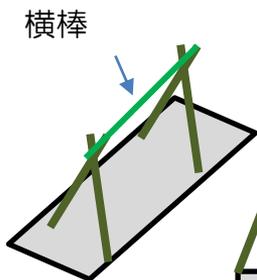


差し込み側の方に立つと
効率よく作業できます

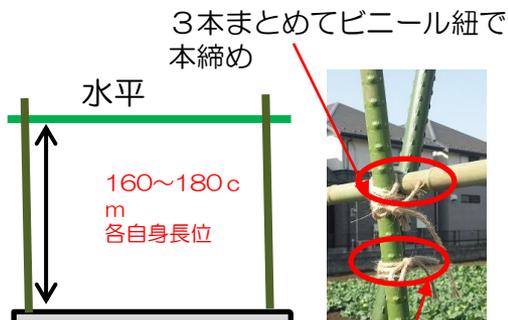


足で支柱を支えながら差し込むと、支柱を曲げずに、効率よく立てられます

⑤上方に支柱(横棒: **240cm**)をのせ、マルチ中心位置、
水平位置を調整し、ビニール紐を本締めする。
高さは作業者の身長が目安です。
あまり高いと収穫時に手が届かなくなります。



中心



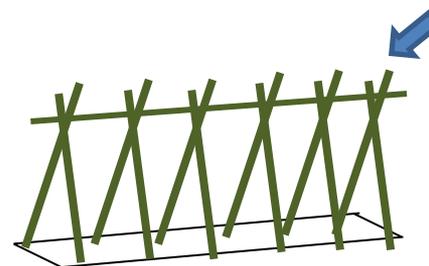
水平

160~180cm
各自身長位

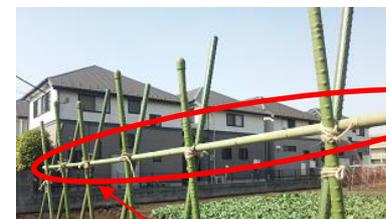
3本まとめてビニール紐で
本締め



安定したら本締め



残りの支柱も同様の手順
で穴に差し込みます

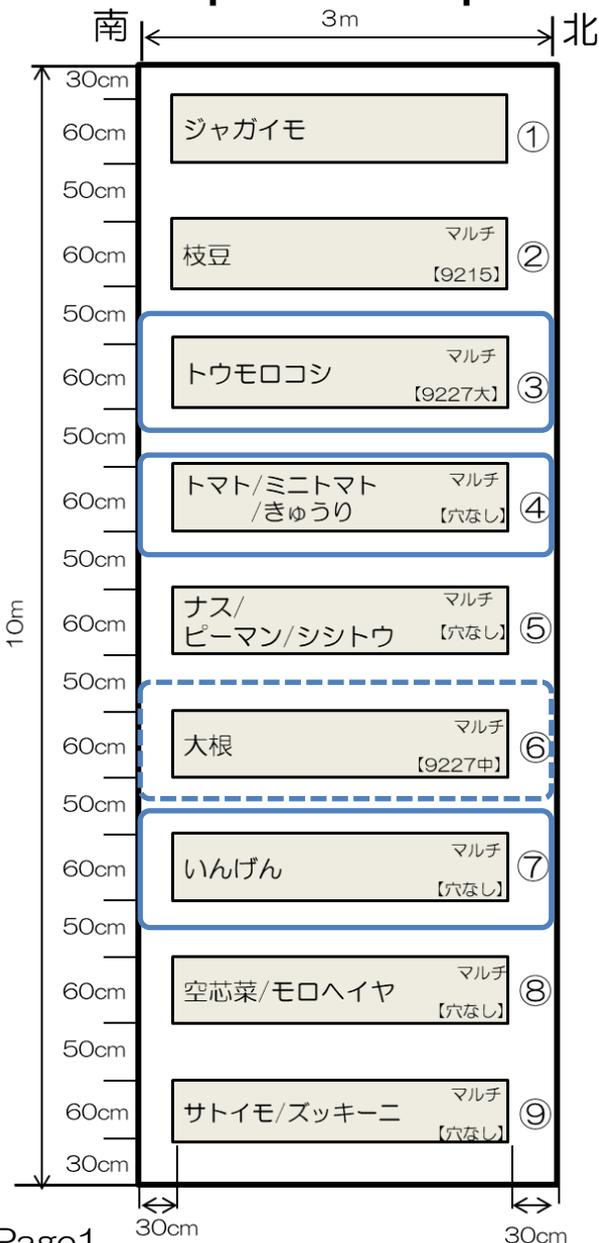


全ての支柱を立てた後
3本まとめてビニール紐
で本締めします

⑥手で支柱をゆらし、安定していることを確認する。
スカスカの場合、ビニール紐を結びなおす。
問題なければ、使った道具を片付ける

↑ 農園入口側 ↑

注：詳細は講習当日の指示に従ってください



本講習会は自由来園形式で行います
作業される方は出席表の記入をお忘れなく

□全般
第4回講習会(4/9-10)は多くの種まき作業があります。
極力本講習会中に支柱たてまで終了させることをお勧めします。

□大根 発芽しない所はまき直してください

□トウモロコシの種まき(③列目)
・種まき **1穴2粒** (半分/北側)

注：穴数は参考です。 → 北

□枝豆のマルチ引き(②列目) →マルチ引き資料参照

□いんげんのマルチ引き(⑦列目) →マルチ引き資料参照

・本講習会中に完了させてください

□トマト支柱たて(⑥列目)
当日10:00までに来園し、トマト列のマルチ(④列目)が
引き終わる目途がある方に、支柱たて指導を行います

注：詳細は講習当日の指示に従ってください



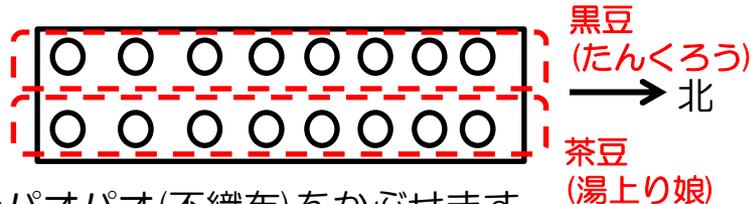
□全般

植付時期を一部前倒しします。

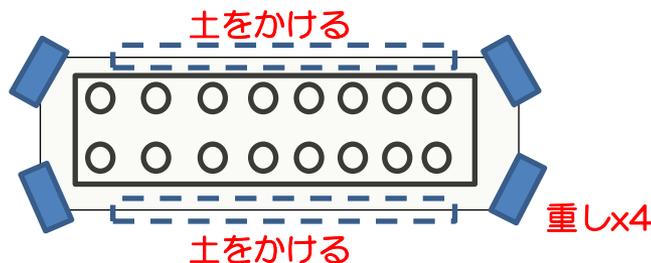
- トマト列④は今回の講習会中に支柱立てを終了させてください。
- ⑧⑨も可能な限り今週中にマルチ引きを終わらせてください。
- 空心菜/モロヘイヤの希望調査をします
- 次週4/17-18も講習指導を行います(苗の作業)
ズッキーニ、空心菜等

□枝豆の種まき(②列目)

- 種まき**1穴2粒**
(深さ1.5cm程度)



種まき後、鳥避けのためパオパオ(不織布)をかぶせます
その後、円筒の重しを2隅に置き、両端は土をかぶせます

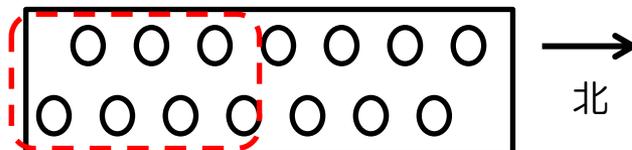


パオパオは各自のコンテナ内にあります。
重しは各区画、4つまでとしてください

□トウモロコシの種まき(品種：ゴールドラッシュ)

(③列目)

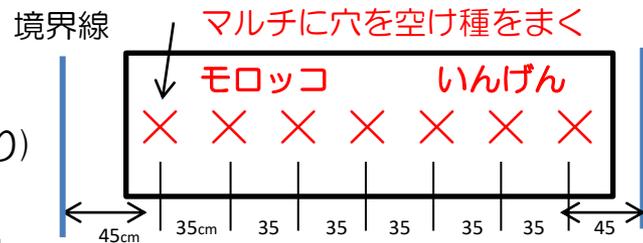
- 種まき**1穴2粒**



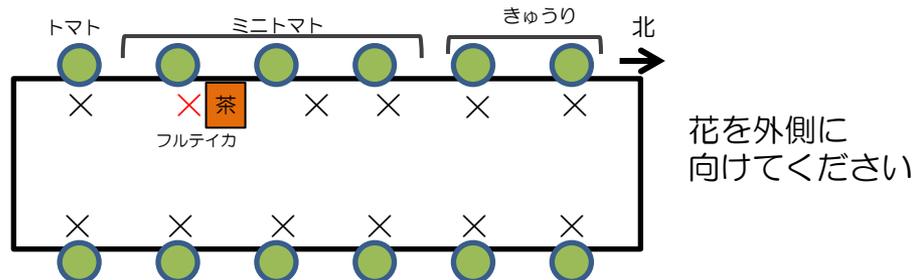
注：詳細は講習当日の指示に従ってください



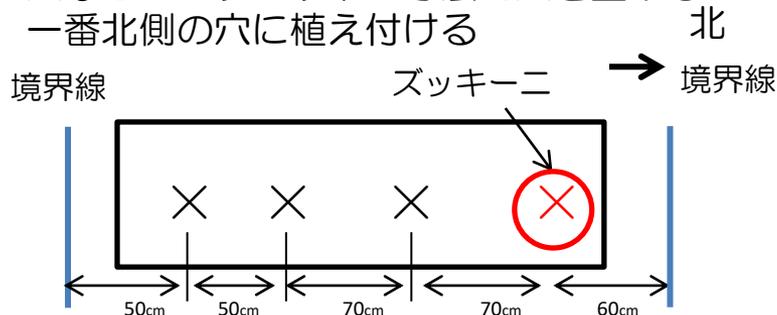
- いんげんの種まき(⑤列目)
- ・マルチに穴をあける
 - ・種まき(7か所、1穴2粒)
- ※モロッコ/いんげん(恋みどり)の割り振りは自由とします



- ミニトマトの植付(④列目)
- 支柱から10cmほど離れた場所に植える。(赤「X」の箇所)

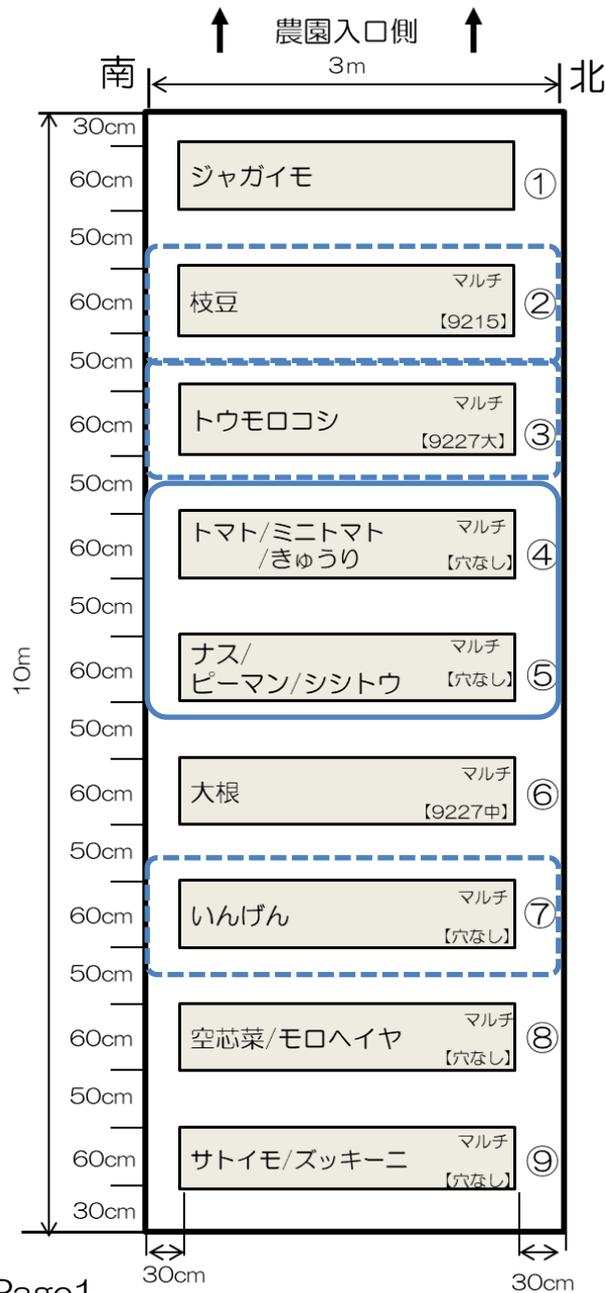


- ズッキーニ(⑨列目)
- ・穴なしマルチに以下の寸法で穴を空ける
 - 一番北側の穴に植え付ける



体験農園(小牧園)講習会 令和3年度 5回目 2021/4/17(土)、18(日)

注：詳細は講習当日の指示に従ってください



□全般

- ・いんげん/枝豆/トウモロコシ、発芽しない箇所のまき直し

□トマト、ミニトマト、きゅうりの植付(④列目)

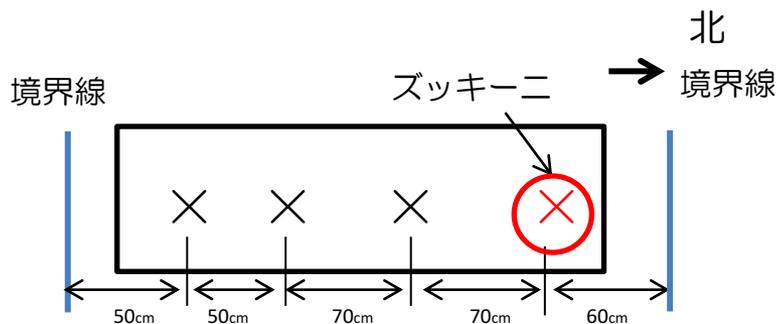
- 大玉トマト(桃太郎) 2本
- ミニトマト 4本(4種類)
- 植付場所は次ページに記載

□ナスの植付(⑤列目)

- 筑陽 2本
- 植付場所は次ページに記載

□ズッキーニ(⑨列目)

- ※先週植えていない方、苗は個別に渡します
- ・穴なしマルチに以下の寸法で穴を空ける
- 一番北側の穴に植え付ける

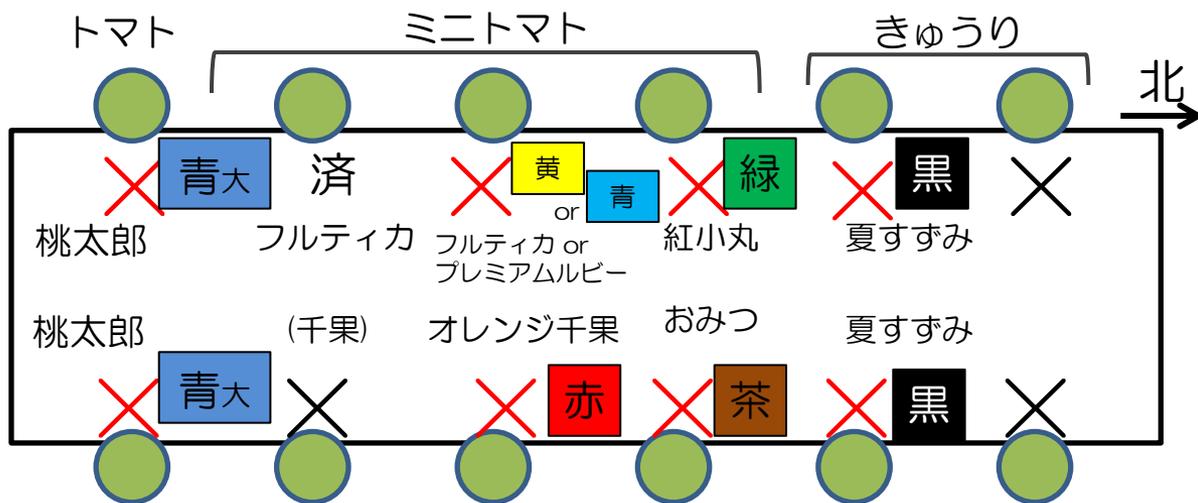


【トマト/きゅうりの植付場所(④列目)】

支柱から10cmほど離れた場所に植えます。(赤「×」の箇所)

赤×：本日植え付け

黒×：後日植付

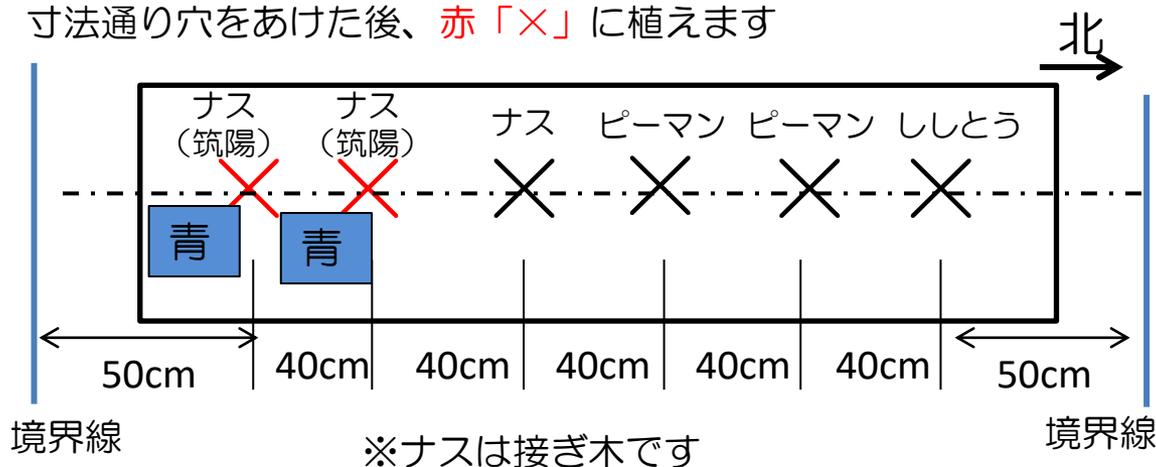


トマト/きゅうり注意点

- ・花が咲いている方を外側に向ける (トマトのみ)
- ・苗が小さいうちは鉄棒に誘引
- ※桃太郎/夏すずみは接ぎ木苗です

【ナスの植付場所(③列目)】

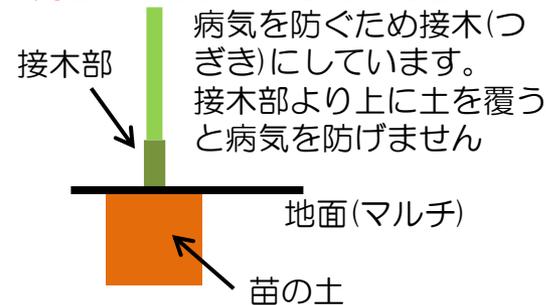
寸法通り穴をあけた後、赤「×」に植えます

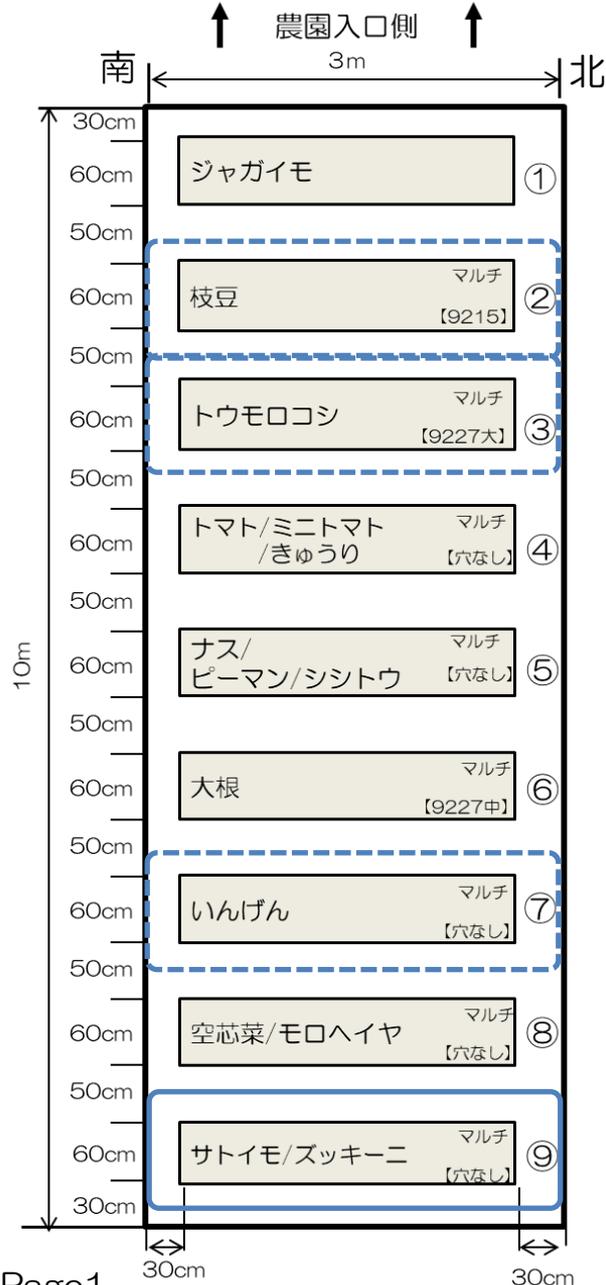


※ナスは接ぎ木です

トマト/キュウリ/ナス共通

接ぎ木の苗は深く植えず、
苗の土の部分と地面(マルチ)が同じ
高さになるようにしてください





注：詳細は講習当日の指示に従ってください

□全般

- ・来園時は水やりを行ってください(特にナス/きゅうり)
- ・除草、トマト/きゅうりの誘引

□枝豆

- ・パオパオを剥がし、個人Boxに片付ける
- 置き石は元の場所(農具置き場の近く)に戻す
- ※過去に支柱にパオパオをかけたまま帰宅したところ、風で飛ばされてしまったというケースがありました。来園時はまず最初にパオパオを剥がして乾かし、帰宅時に撒収するようしてください。

□トウモロコシ捕植

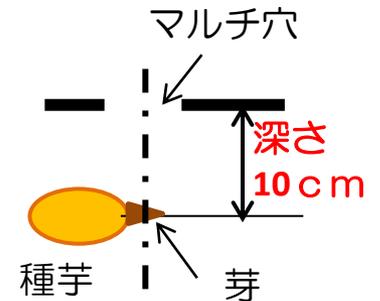
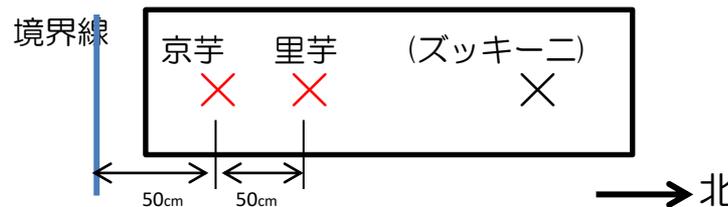
- ・発芽しない箇所は苗を植えてください。
- ※講習日(4/24朝-25夕方)限定で不在時も持ち出し可とします

□インゲン捕植

- ・発芽しない箇所は種を撒いてください。

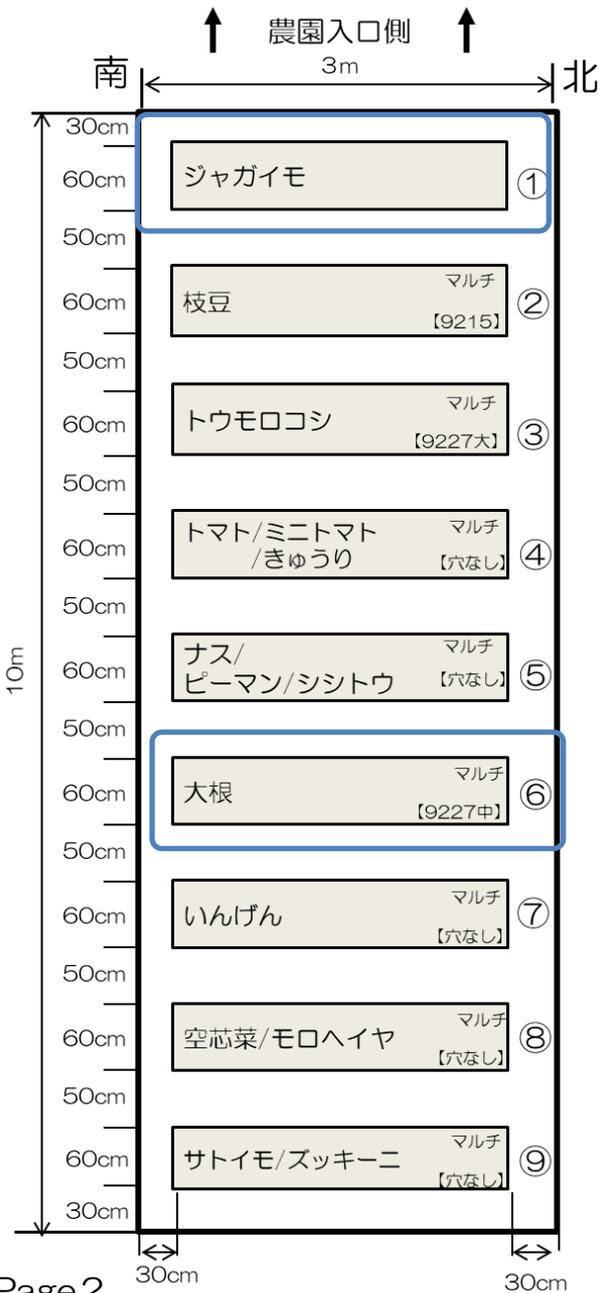
□京芋/里芋 (◎列目)

- ・マルチに以下の寸法で穴を空ける
- ・京芋/里芋→種芋を右図のように植える



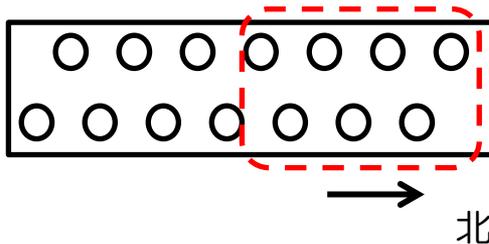
種芋を横向きにし、芽がマルチ穴の中心にくるように植える

注：詳細は講習当日の指示に従ってください

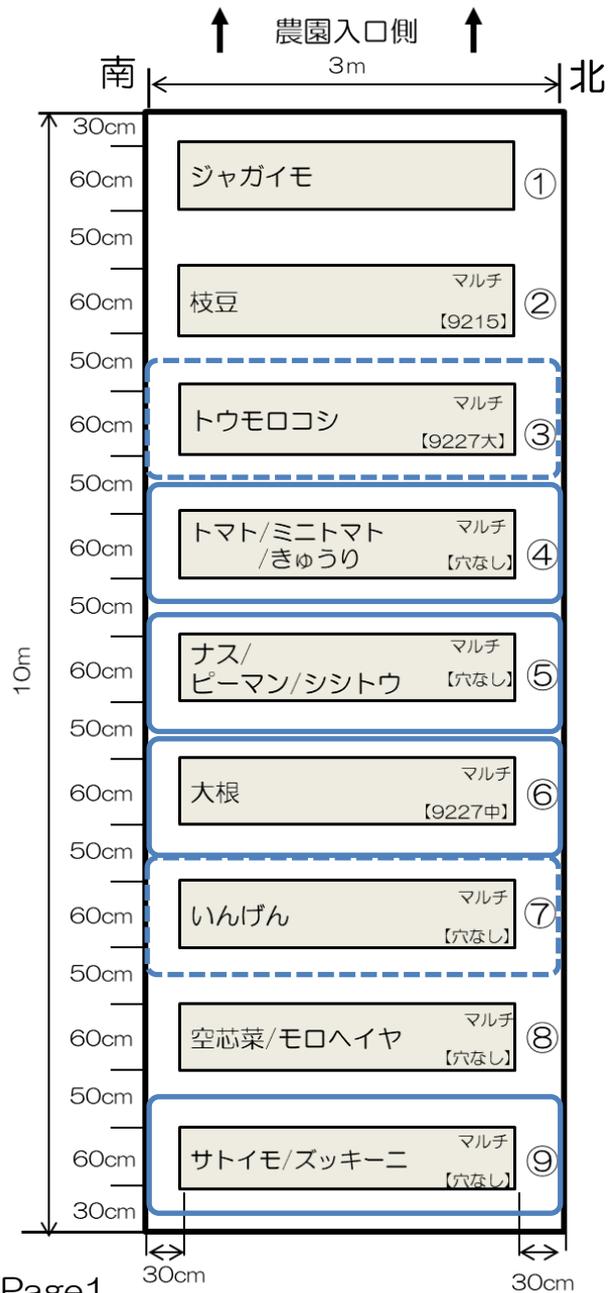


- じゃがいも
- 追肥(化成8号) 1杯
株の周囲にまく
 - 土寄せ

- 大根
- 間引き
最初にまいた箇所を4本→2本にする



注：詳細は講習当日の指示に従ってください

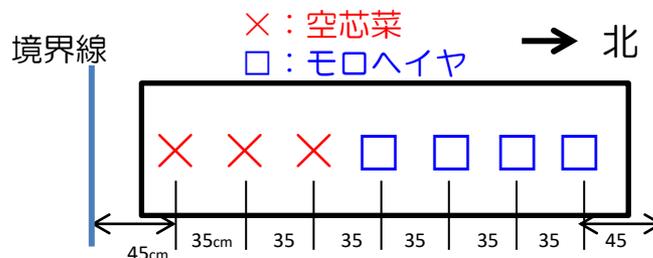


□全般

- 除草(随時行ってください)
- トマト/きゅうりの誘引(めかきは随時)
- 大根まびき(北側2本→1本、南側4本→2本)
- (トウモロコシ捕植/インゲン再種まき)

□空芯菜の植え付け(⑧列目)

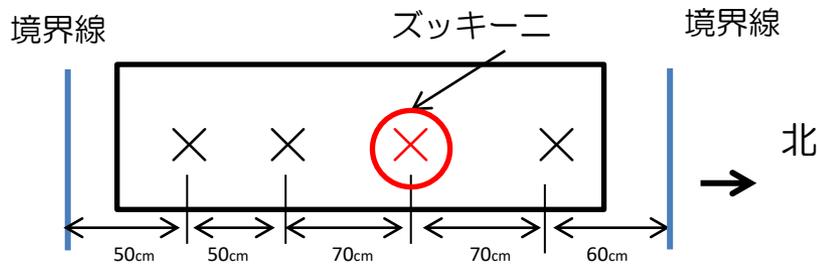
- ・各区画、希望数定植する

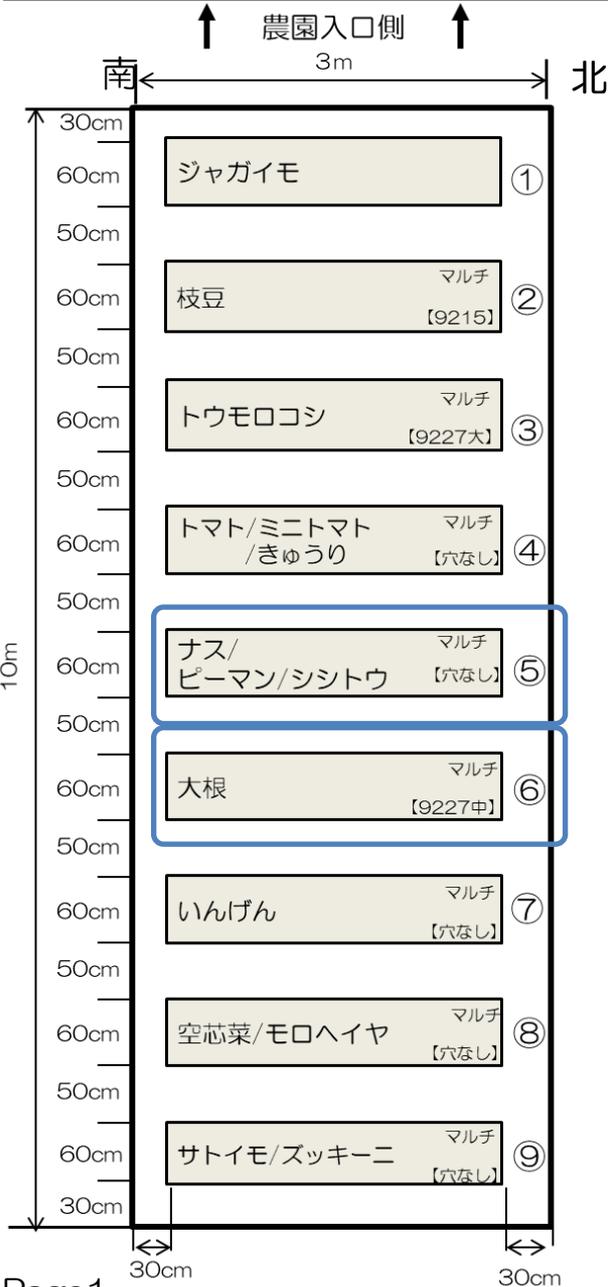


モロヘイヤの希望数により異なります

□ズッキーニ2回目(⑨列目)

- ・穴なしマルチに以下の寸法で穴を空けズッキーニを定植する





注：指導時間は 5/15(土)7:00~8:30、5/16(日)7:00~9:30です

□全般

除草、水やり(随時行ってください)
トマト/きゅうりの誘引、トマトめかき

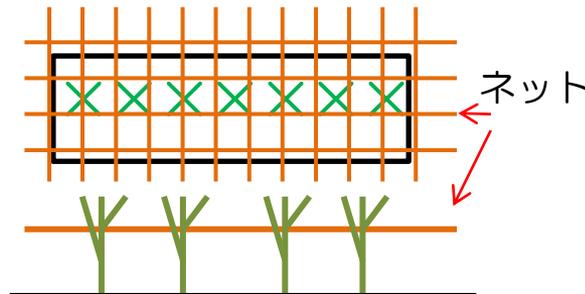
□収穫

大根：今年度は本数が多いです。6月上旬までに収穫が終わるよう
多少小さくても計画的に収穫ください
ズッキーニ：巨大化する前に収穫ください

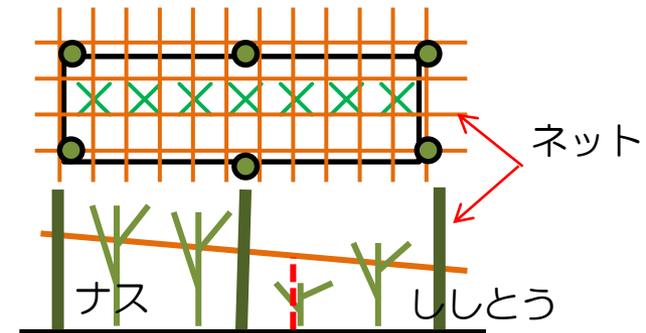
□ナス列ネットはり

- ①支柱(74cm/6本)とネットを用意する。
※本数は守ってください
※ネットがない方、損傷がひどくて変えたい方は申し出てください

- ②ネットをナス/ししとう/ピーマンの上に軽く掛ける



- ③支柱を6本立て、ネットを張る(ピンと張ると落ちてきません)



- ④成長に合わせてネット高さを調整する



注：講習当日の指示に従って作業ください



□全般

除草、水やり(随時行ってください)
トマト/きゅうりの誘引、トマトめかき
大根/ズッキーニ収穫

□追肥 追肥用肥料 **緑四角部(大根/じゃがいも以外)**

追肥用肥料を**1株1つまみ**撒きます
ボールに入れ、余った肥料は元に戻してください
多すぎないように注意してください(肥料焼けします)。



根元に1つまみ
ずつ追肥します

「1つまみ」はこれくらいです

追肥肥料は常設します。月1ペースで各自施肥ください

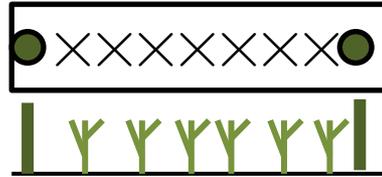
注：講習当日の指示に従って作業ください



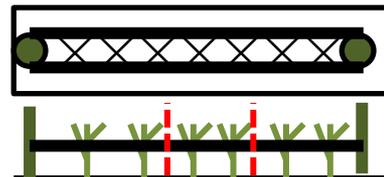
【いんげん支柱立て】

- ①支柱(74cm/2本)
黒ビニール紐を用意する
※本数は守ってください
※黒ひもがない方は
申し出てください

- ②マルチの両端に支柱を立てる

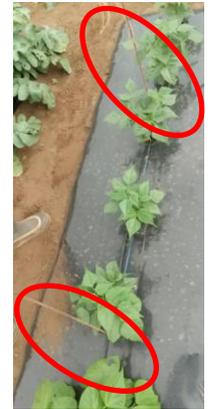


- ③一番小さい苗の高さに合わせ、
2本のビニール紐を両側から
挟むようにして支柱に縛る

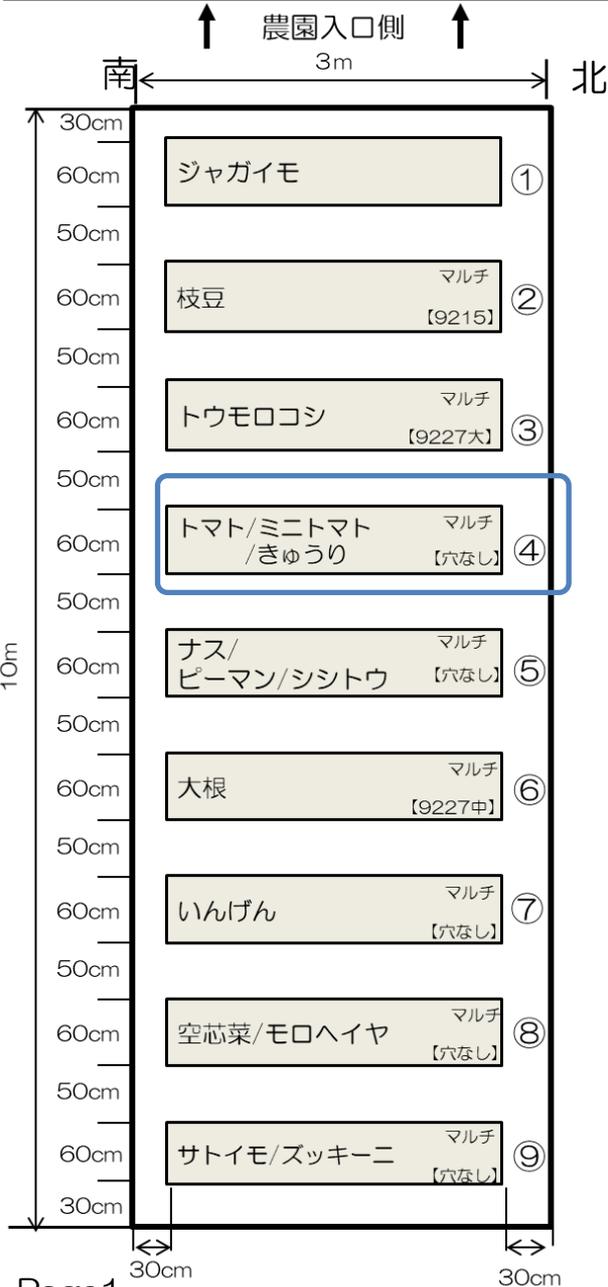


支柱2本だと
厳しい場合、
鉄棒を間に立
ててください
支柱はNGです

- ④苗と苗の間を麻紐で縛る



注：詳細は講習当日の指示に従ってください

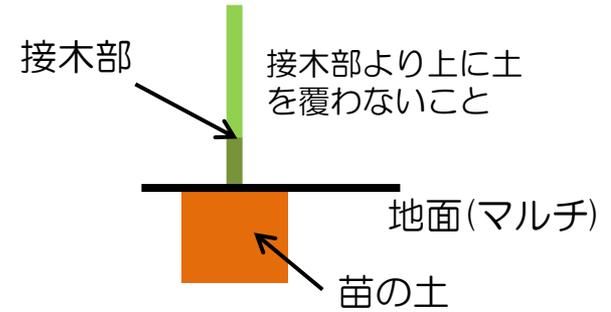
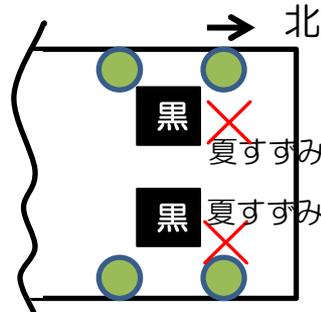


□全般

除草、水やり(随時行ってください)
 トマト/きゅうりの誘引、トマトめかき
 大根/きゅうり/ズッキーニ収穫

□きゅうりの植付け(④列目)

・苗を植付け、麻紐で縛る(誘引)
 →風で折れないよう鉄棒に誘引してください



□トウモロコシ消毒

上方からデナポン粒剤を1~2つまみかけてください。
 ハウス内の掲示物を参照ください

□ナスの一番果収穫

最初にできた実は小さくても早めに収穫ください。

□きゅうりの整枝

根元から出ている側枝の先端を、葉3~4本残して切ります。
 わからない方はお声がけください。

本資料をよく読み、間違い等ないようお願いします。
 道具・種は数がありません。他に作業者をがいる場合は、使ったら都度元に戻すなど、譲り合って作業されるようお願いします。

【人参種まき】

□人参(ベーターリッチ/向陽二号)

①大根のマルチを剥がす

※スコップ等を使い、マルチの切れ端を残さないようにご注意ください
 ※剥がしたマルチはよく乾かしたのち丸くまとめて捨ててください。

②肥料類を準備し、肥料用バケツに入れ、よくかき混ぜる

- ・化成8号/石灰/アズミン 各1杯
- ・ネマトリン(線虫予防薬) 100g (小分け袋に入ってます)
 ※ネマトリンの小分け袋は再利用しますのでお戻しください

③肥料類を撒き、クワなどでよく耕したのち、
 レーキ・プラパイプ等で平坦にする

④マルチ引き同様、2本の縄を張る (ナス列から50cm/幅60cm)

①



②



③



④



⑤人参筋作成用器具を持ってきます



当農園で自作した器具です(非売品)



6月中は農具置き場横に常設します。使用後は元の場所に戻してください

⑥以下の要領で筋を4本作ります

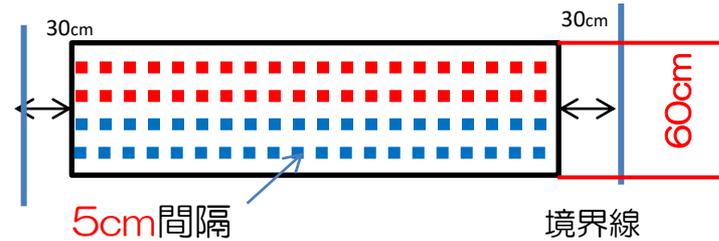


端部を縄と沿わせながら手前に引きます

器具を地面に押し付け4本の筋を作ります

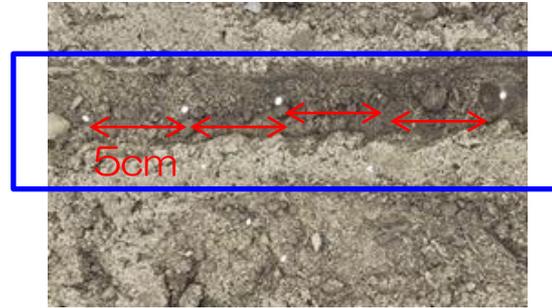
⑦種をもってきて、筋に種をまく

ベーターリッチ(赤点部) 5cm間隔/一つづつ
向陽二号(青点部) 5cm間隔/一つづつ



5cm間隔

境界線



適正量はこれくらいです

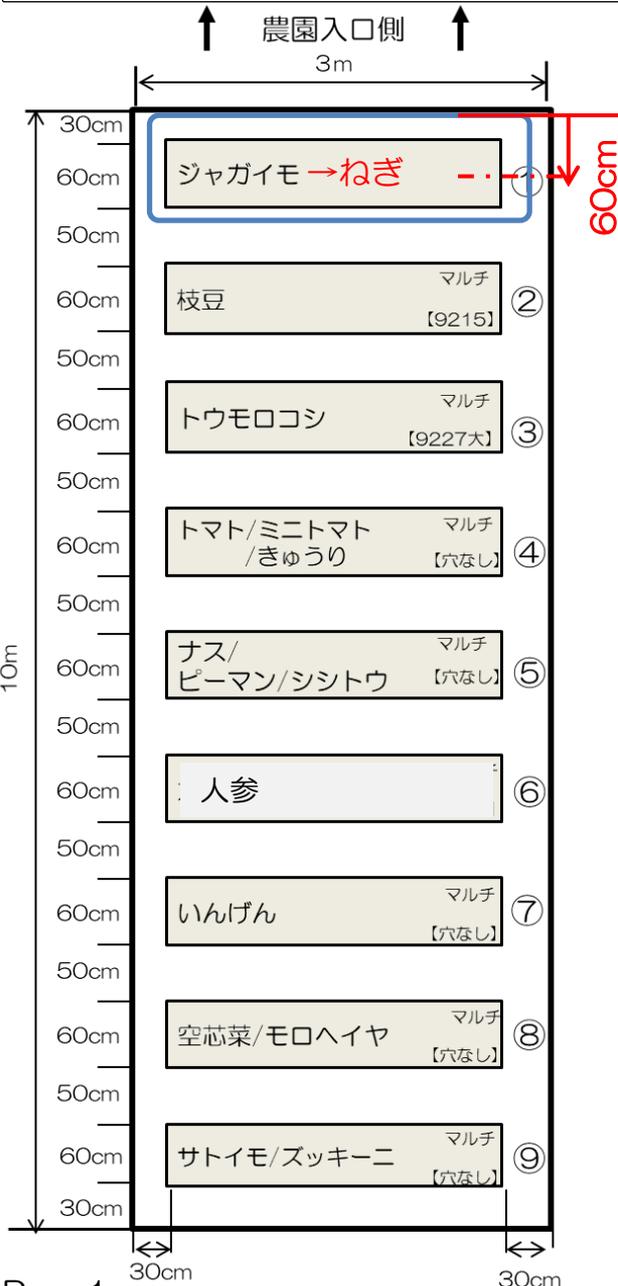
⑧種まき後土をかぶせ、わら4つをばらして表面に敷く



わらを引いた後、長い鉄棒2本をクロスさせておき、わらが飛ばないようにする

作業終了後、水をしっかり撒いてください。また来園毎、必ず水撒きするようにしてください。

体験農園(小牧園)講習会 令和3年度 11回目 2021/6/19、20、26/27



注：講習当日の指示に従って作業ください

今が春の最後の講習会です。以後管理・収穫期に入りますが、週に一度は来園くださるようお願いいたします。

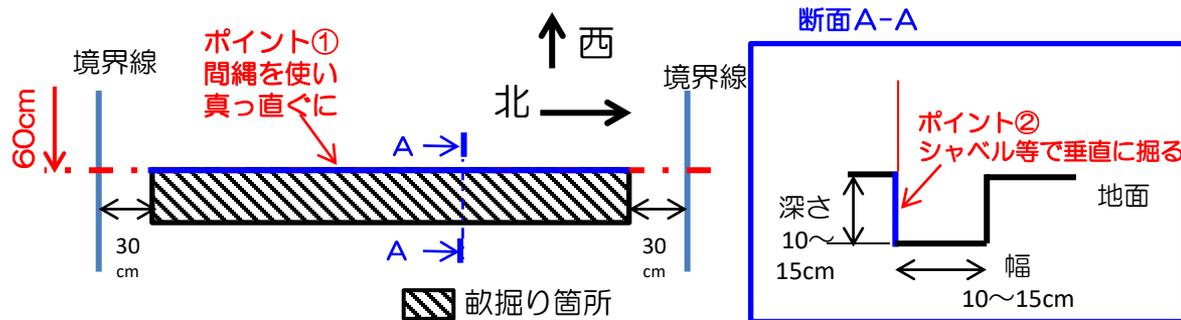
□全般

- ・収穫、管理作業

□ねぎ植付

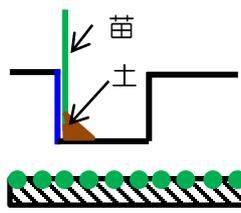
- ・石灰(カルメイト) → **2杯**
- ・化成肥料(化成8号)、アズミン → 1杯
- ・畝掘り → **基準面(青線部)**が曲がらないようにしてください

施肥後よく耕したのち
平坦にしてください



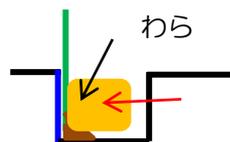
・苗植え

①ねぎの苗を基準面につけ
根元に土をかけて固定する



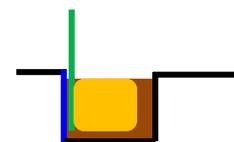
5cm間隔、畝全体に

②わらを畝に入れ、基準面
側に軽く押し付ける



注意①
間隔狭いと細くなります！

③わらが埋まらない程度
の深さで土をかける



注意②
土をかけすぎると腐ります

「7月～8月の作業予定」



列番	6月下旬の状態	7月～8月の作業	8月末時点の状態
①	植付済	特にありません	そのまま (生育中)
②	植付済	収穫可能時期はホームページ上でお知らせします。収穫完了後は、マルチを外し、平らにならしておいてください。	収穫完了 (7月中旬)
③	植付済	収穫可能時期はホームページ上でお知らせします。収穫完了後は、マルチを外し、平らにならしておいてください。	収穫完了 (7月～8月上旬)
④	収穫可	適宜収穫して下さい	そのまま (9月上旬撤去)
⑤	収穫可	適宜収穫して下さい。	そのまま (9月下旬撤去)
⑥	収穫完了	状況に応じ、種まきを行って下さい。	そのまま (生育中)
⑦	植付済	適宜収穫して下さい。収穫完了後は、マルチを外し、平らにならしておいてください。	収穫完了 (7月中旬)
⑧	収穫可	適宜収穫ください。大きくなりすぎたら一旦バッサリ切り、きれいにしてください。	そのまま (10月まで可)
⑨	植付済	サトイモ類は成長に合わせ、畝上げを行ってください。ズッキーニは随時収穫ください。	そのまま (生育中)

早めに収穫が終わる②③⑦、⑨のズッキーニ部は、8月中にマルチ引きや苗の植付を行う場合があります。詳しくは一斉メールにてお送りします。

注1. 収穫時期、消毒情報は、一斉メールにてお知らせします
注2. 除草などの管理は適宜行ってください

【お知らせ】

●管理・収穫期(7月～8月)の作業の注意事項

基本的には、皆様のご都合の良い日時に来て作業を行っていただいております。
ただし、以下の点に注意ください。

- ①講習会中断期間の連絡は「ホームページ」および「メール連絡」にて行います。収穫情報、後述の消毒情報等は、こちらを確認してください。
- ②なるべく週一度は除草/収穫に来るようにしてください。特にトマト/きゅうり/ナスについては、**間をあけすぎると収穫タイミング(食べ頃)を逃してしまうことがあります。**なお、枝豆、トウモロコシ等の収穫情報については、一斉メールにて発信します。
- ③夏場は午前中の早い時間、もしくは夕方に来られることを強くお勧めします。水分補給を忘れず、**健康に留意して**作業を行ってください。
- ④作業等についてご不明点等がありましたら、その都度声をかけてください。ただし、平日のAM(~11:00)は出荷作業、**夏場の日中(11:00~15:00)は、昼休憩等のため対応できません**ので、ご注意ください。
- ⑤自転車は**必ず指定場所に駐輪**するようにしてください。
- ⑥収穫後のマルチは、それぞれ指定した場所に捨ててください。また、**支柱に使用した鉄棒等は必ず元の場所に戻してください。**

●秋の講習会日程について

秋の講習会日程については、決定次第一斉メールホームページ上に掲載します
8月末～9月中旬にかけ3～4回実施予定です。

苗の準備次第で、8月上旬に臨時講習を設ける可能性があります。

全般

体験農園は市民農園とは異なり、農業者等の指導/管理のもと、農作業を行うことが前提の農園です。例年より自由来園講習が多いですが、可能な限り指導時間帯に来園し、定期的に指導を受けるようにしてください。

来園時

- ・自転車は指定の場所に駐輪ください。
※農園説明会資料を再確認ください
- ・講習参加時は出欠表の記入を忘れずをお願いします。特に自由来園講習の際は、出欠表が指導時間外に来られた方の状況を把握する手段になります。

作業時

- ・農園支給のはさみ、スコップ、メジャーは消耗品です。壊れたらお取替えしますのでお声がけください。
- ・ネット/パオパオ/黒ひも等は、繰り返し使用するので、**自己判断で捨てないでください。**
- ・農具や種は数に限りがあります。譲り合ってお使い下さい。終わったら速やかに返却ください。
- ・**農具や資材の置き忘れは厳禁です。通行人がけがをする可能性もあるので帰宅前に確認ください。(今年度も数回発生しています)**
- ・マルチは種類/数を間違えないようお持ちください。
- ・苗のポッドは、洗って泥をおとしてから指定場所に返却ください

ゴミの分別

- ・分別にご協力ください(分類はゴミ箱に表示)。
割りばしは全て回収します(生ごみではありません)
- ・私物のゴミは各自お持ち帰りください。
- ・**使用済みマルチは、泥をしっかりと落とし、指定サイズまで小さくしてから破棄ください。**

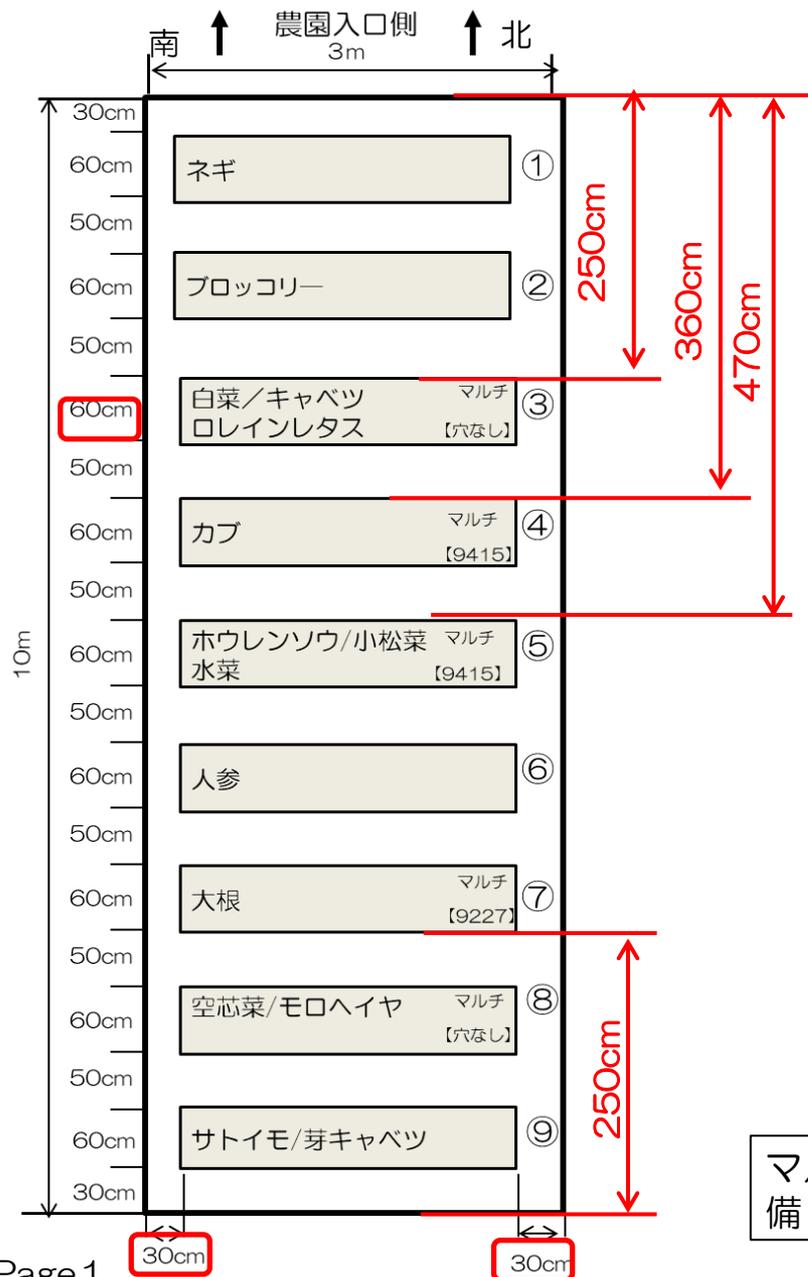
農園利用者外の方の農園立入について

- ・農園利用者の立ち合いを条件に、農作業/収穫目的での立入を許可します。農園への申告は不要です
- ・農園で決められたルールを順守させてください。
- ・農園への立入りは、許可を得た場合を除き、体験農園および農道に限ります

当農園は農育・食育の観点から、お子さん、お孫さん、友人を連れての来園することは歓迎しています。ただし、農園に慣れていない方は、思わぬ行動をしてしまうことで、トラブルを起こす可能性があります。(例：農具や支柱でけがをする。誤って他区画の作物を収穫してしまう。マルチや作物を傷つけてしまう等)。引率される利用者の方は、十分にご注意くださるようお願いいたします。特に小さなお子様と来園される場合、保護者の方は常に目を離さぬようお願いいたします。開設して10年間、幸い重大な怪我事例は発生しておりません。ただし、作物の収穫間違えや、他区画の損傷トラブルは年間2～3件は発生しており、その半数が農園利用者外の方によるものです。

※農園利用者の定義

契約者、もしくは定期的に講習会に参加している家族・友人
(農園指導者に顔を覚えられている方、



貸出用資料・要返却

- 白菜/キャベツ/ロレインレタス(③列目)
 - ・施肥：野菜名人、石灰、アツミン 各1杯(約200g)
 - ・穴なしマルチをひく
 - (注)できるだけマルチ幅60cmを確保するように！幅が狭いと白菜/キャベツがぶつかります

第12回講習会まで

- 大根(⑦列目)
 - ・施肥：化成8号、石灰、アツミン 各1杯(約200g)
 - (注)大根のみ化成8号です
 - ・マルチ9227をひく

8月末まで

トマト/きゅうり撤収後(9/1~19)

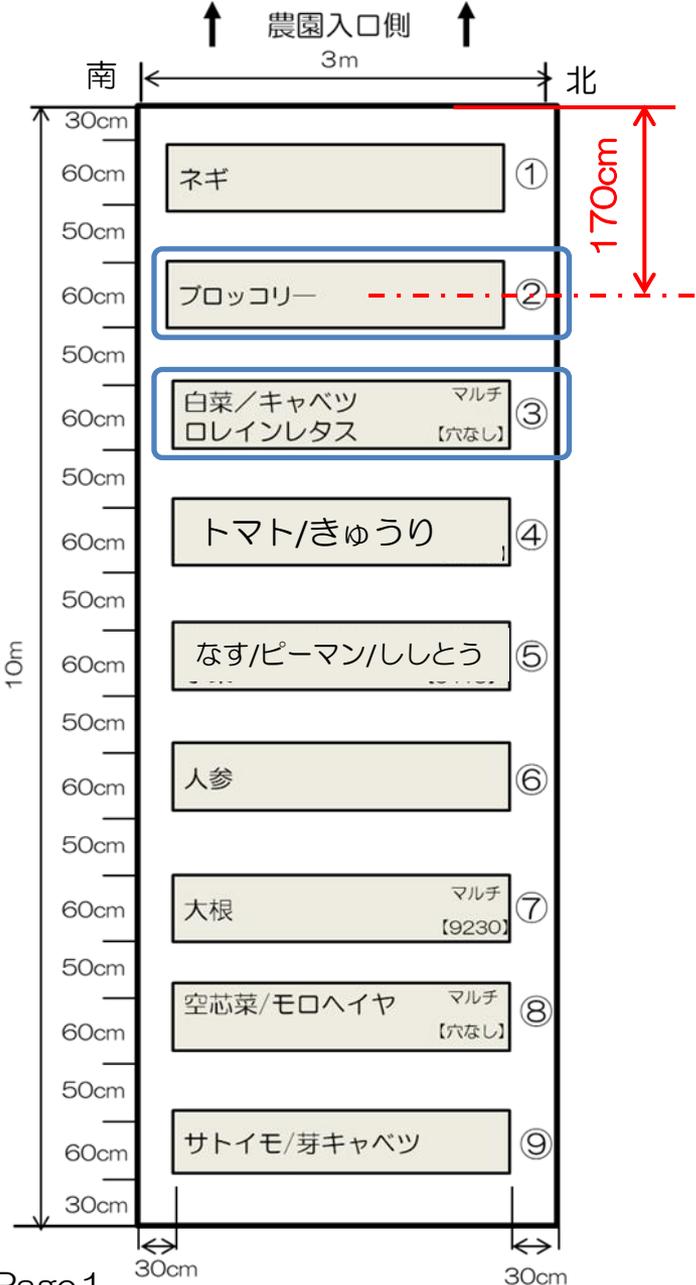
- カブ(④列目)
 - ・施肥：野菜名人、石灰、アツミン 各1杯(約200g)
 - ・マルチ9415をひく
 - (注)表面を平坦にしないと種が水没します

9/19まで

ナス/ピーマン/ししとう撤収後(9/20以降)

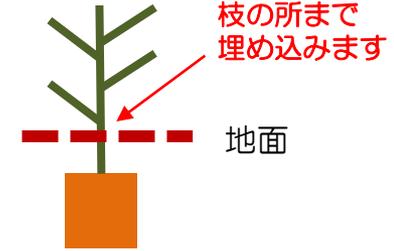
- 葉物類(⑤列目)
 - ・施肥：野菜名人、アツミン、石灰 各1杯(約200g)
 - ・マルチ9415をひく
 - (注)表面を平坦にしないと種が水没します

マルチは取り間違え防止のため、時期をずらして1種類ずつ準備します。時期より早めに行いたい場合はお声がけください



秋の苗定植時の注意事項

- 秋の作物の苗は**深植えします**
※夏のトマト/きゅうりの指示と異なるので注意
- ポット類は水で洗って返却ください



□ブロッコリーの定植(②列目)

- 施肥：野菜名人、石灰、アツミン 各1杯(約200g)よく耕して混ぜ込む
- ブロッコリーの苗(4種類)を定植する
定植後、鉄棒に誘引する

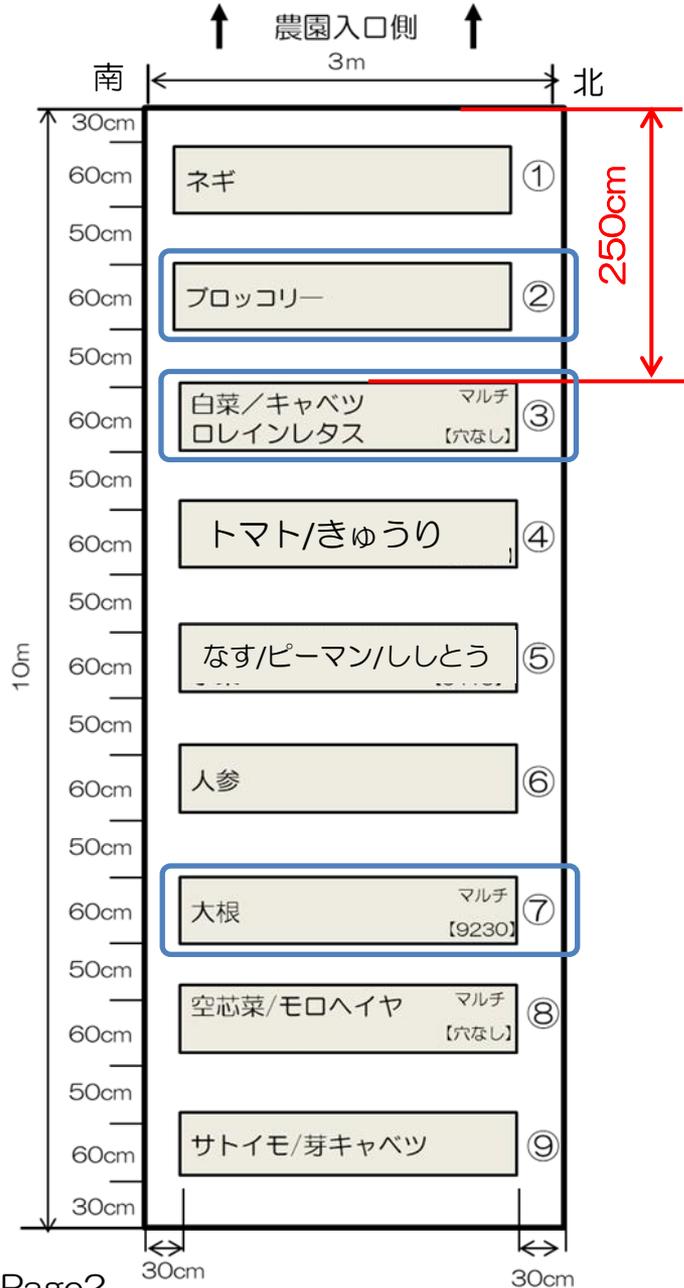
境界線 170cm 境界線

銀 白 紫 青

① ① ② ② ③ ④

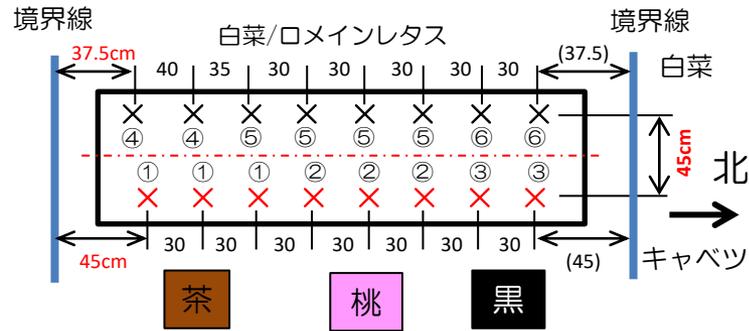
北

- ①スティックセニョール×2
- ②ピクセル×2
- ③緑嶺(りょくれい)×1
- ④トップスター×1



□キャベツの定植(③列目) **赤×部**

- 施肥/マルチひき (野菜名人、石灰、アツミン 各1杯)
 - マルチに穴をあけ、キャベツ(3種類)を定植する
- マルチ引きで使用する縄を使い、キャベツ列-白菜列の間隔を十分にとるようにしてください
白菜列も本講習会時に穴をあけてしまってください



- キャベツ列
 - ①金系201(茶) × 2
 - ②金春(桃) × 3
 - ③彩ひかり(黒) × 3
- 白菜列→次回講習会
 - ④オレンジクイン × 2
 - ⑤ミニ白菜 × 4
 - ⑥ロメインレタス × 2

□大根準備(⑦列目)

- ※本講習会時に施肥だけは済ませてください **肥料の種類に注意**
- 施肥: **化成8号**、石灰、アツミン 各1杯(約200g)
 - 可能な方は**マルチ9227**をひく

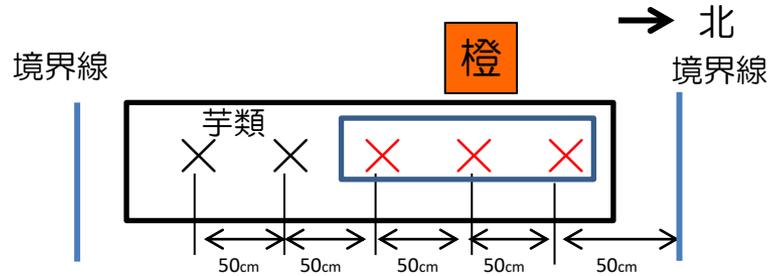
その他

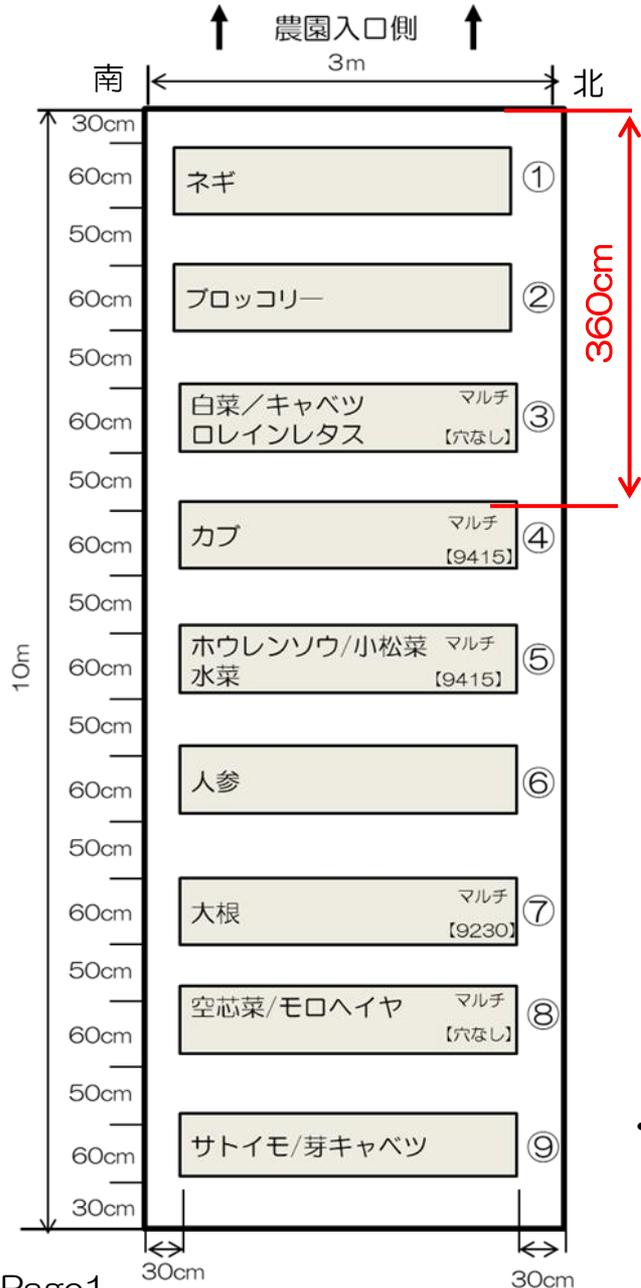
道具(主にハサミ)の置き忘れが多く発生しております
改めて帰宅前の確認をお願いします



□芽キャベツの定植(◎列目)

- 肥料(野菜名人/石灰/アズミン)を撒き、苗を植える

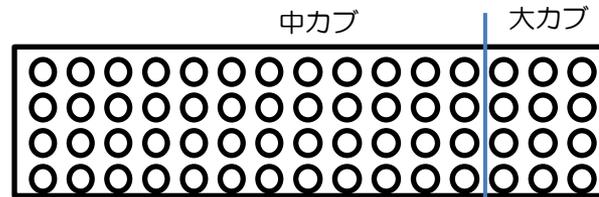




□カブの種まき(④列目) 9月末までに行ってください

雨天時不可です

- 施肥(野菜名人/石灰/アズミン 各1杯)後、各自でうね全体を耕す
- マルチ9415中をひく
(注)表面を平坦にしないと種が水没します
- 種まき、各穴4粒程度 目安: 大カブ3列、残り中カブ
カブの割合は自由です

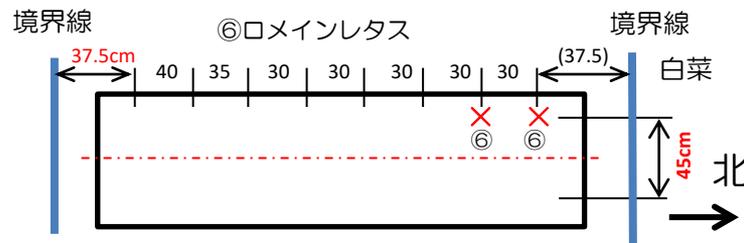


成育高さが違うため、順番を間違えないよう注意してください。

※穴数はマルチの引き方で異なります

※ロメインレタス定植

9/18-20の日中、苗をハウス外に置いておきます



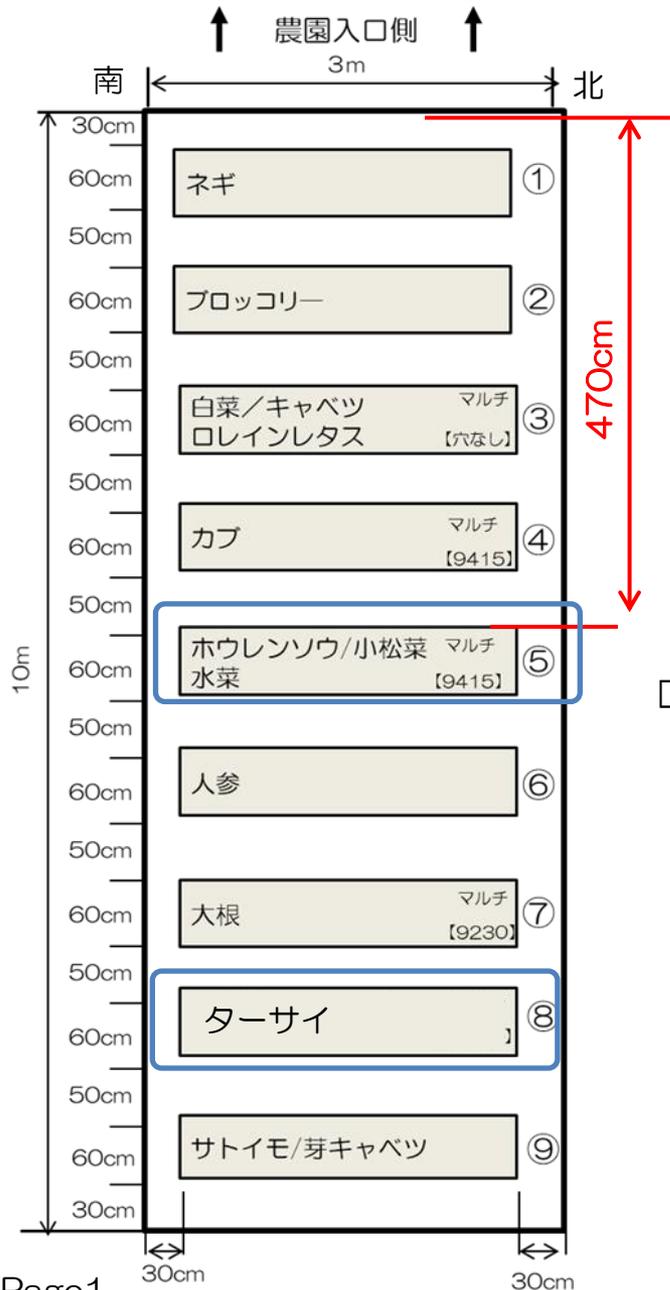
• 追肥: 9月末

• 人参: 間引き 10~15cm間隔 適宜

• 大根: 間引き 9月末に4→2本

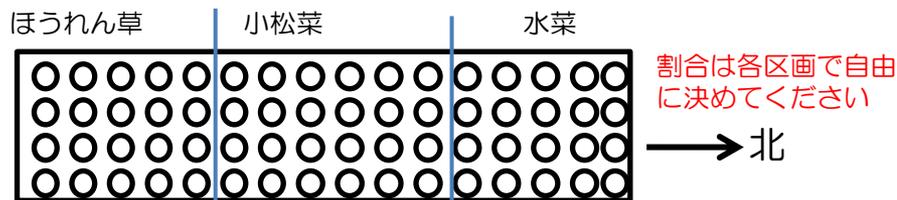
• ブロッコリー/里芋/ネギ 土寄せ 随時

• ナス列は9月末~10月頭を目途に撤収開始ください



□葉物の種まき(⑤列目) 10月中旬までに行ってください

- ・ナス類の撤収&片づけ→ネットは各自BOXへ戻してください
- ・施肥(野菜名人/石灰/アズミン 各1杯)後、各自でうね全体を耕す
- ・マルチ9415をひく
(注)表面を平坦にしないと種が水没します
- ・種まき、各穴4粒程度
ホウレンソウ/小松菜/水菜 各5列程度



※穴数はマルチの引き方で異なります

□ターサイ植付(⑧列目)

- ・空芯菜/モロヘイヤを撤収する
マルチはそのまま使用します
- ・マルチの×部に穴をあける
(モロヘイヤ/空芯菜の穴の間になります)
- ・施肥(野菜名人1杯) あけた穴から内側に撒く
- ・12か所植え付けます

